世界画報

昭和九年
三月一日發行

三月號

第十巻
第三號

大正十五年十一月十日第三種郵便物認可　毎月一回一日發行
昭和九年二月二十日印刷納本　昭和九年三月一日發行

東京　國際情報社發行

世界畫報 第十巻 第三號

表紙

◇『淺草の觀音堂』(原色版)
◇『北歐の春』(原色版)

原色版口繪

◇『第一回神宮スケート大會』
◇『ストツクホルムの敎會』
◇『エチオピアの戴冠式』
◇『ローソツプ島の皆既蝕觀測隊』
◇『北平萬壽山の玉帶橋』
◇『昔めいた武昌の街』
◇『滿洲帝國の皇帝、皇后と仰がれる溥儀執政御夫妻』(臺紙貼込)
◇『盛典への準備を急ぐ新京順天廣場』

二色版

◇『帝政實施の布告文を見る滿洲國人』
◇『新京の銀座大馬路』
◇『新京驛前廣場の壯觀』
◇『新京の日本橋通り』
◇『帝政平和を象徵するポスター』
◇『完成した興運門と興運橋』

單色版

內地時事

◇『荒木さん大臣をやめて後任に林銑十郎大將就任』
◇『高波、牧野兩少將在滿中の任務を奏上』
◇『西部隊凱旋して、杉原部隊駐滿を命ぜらる』
◇『第六十五議會より』
◇『出所した中岡艮一と零落の橋本元助役』
◇『エチオピヤ帝國の王妃となられる、黑田雅子孃と、背の宮アベバ殿下並びにエチオピヤ土人の生活ぶり』
◇『非常時を反映した紀元節の賑ひ』
◇『其の他內地時事寫眞數十葉掲出』

滿洲通信

◇『菱刈司令官の動靜』
◇『感激に滿ちた政府首腦部の帝政會議』
◇『鄭國務總理帝政實施を發表』
◇『ハルビン未曾有の大デモ』
◇『張實業部總長のおめでた』

海外ニュース

◇『七十五才の高齡を迎へたカイセル』
◇『便利な子供携帶器』
◇『最近の航空界ニュース』
◇『スキー遭難救助隊の活躍』

連續掲載 特別附錄 明治神宮壁畫集

不世出の英傑に在した明治大帝の御聖德を偲び奉り、御鴻業を不朽に傳へやうとする明治神宮聖德記念繪畫館に奉掲の壁畫は、現代畫壇の巨匠が各々其の心血を罩めて謹毫したものであります。本誌は昭和五年の新年號から左に掲げた通りこれを連續掲載して、各方面から多大の賞讃を得て居ります。尚ほ其の後の壁畫は、目下各畫伯に於いて謹毫中ですから、出來次第に次々に掲載する豫定であります。御期待下さい。

◇昭和五年度◇

新年號 日露役旅順開城 荒井陸男畫伯筆
歌御會始 山下新太郎畫伯筆
二月號 日露役奉天戰 鹿子木孟郎畫伯筆
熊本籠城 近藤樵仙畫伯筆
三月號 五箇條御誓文 乾南陽畫伯筆
大婚廿五年祝典 長谷川昇畫伯筆
四月號 凱旋觀兵式 小林萬吾畫伯筆
下關講和談判 永地秀太畫伯筆
五月號 日露役日本海々戰 中村不折畫伯筆
東京慈惠病院行啓 滿谷國四郎畫伯筆
六月號 皇后宮田植御覽 近藤樵仙畫伯筆
臺灣鎭定 石川寅治畫伯筆
八月號 琉球藩設置 山田眞山畫伯筆
不豫 田邊至畫伯筆
九月號 日韓合邦 辻永畫伯筆
廣島大本營御親裁 南薰造畫伯筆
十月號 凱旋觀艦式 東城鉦太郎畫伯筆
赤十字總會行啓 湯淺一郎畫伯筆
十一月號 御元服 伊東紅雲畫伯筆
華族女學校行啓 跡見泰畫伯筆

◇昭和六年度◇

新年號 靖國神社行幸 清水良雄畫伯筆
敎育勅語下賜 安宅安五郎畫伯筆
二月號 習志野之原演習行幸 小山榮達畫伯筆
山形秋田巡幸鑛山御覽 五味清吉畫伯筆
三月號 岩倉邸行幸 北蓮藏畫伯筆
農民收穫御覽 森村宜稻畫伯筆
四月號 樞密院憲法會議 五姓田芳柳畫伯筆
廣島豫備病院行啓 石井柏亭畫伯筆
五月號 踐祚 川崎小虎畫伯筆
憲法發布觀兵式行幸啓 片多德郎畫伯筆
七月號 德川邸行幸 木村武山畫伯筆
八月號 地方官會議臨御 磯田長秋畫伯筆
九月號 王政復古 島田墨仙畫伯筆
十月號 大總督熾仁親王京都進發 高取稚成畫伯筆
十一月號 陸海軍大演習御統監 長原坦畫伯筆

◇昭和七年度◇

新年號 立親王宣下 橋本永邦畫伯筆
二月號 ポーツマス講和談判 白瀧幾之助畫伯筆
五月號 北海道巡幸屯田兵御覽 高村眞夫畫伯筆
六月號 廢藩置縣 小堀鞆音畫伯筆
七月號 軍人勅諭下賜 寺崎武男畫伯筆

◇昭和八年度◇

三月號 樺太國境劃定 安田稔畫伯筆
九月號 鳥羽伏見戰 松林桂月畫伯筆

大盛典への準備を急ぐ
新京・順天廣場

善隣滿洲國は、英明な溥儀執政の統帥の下に、建國以來二ヶ年間に亘る粒々辛苦の努力が着々實を結んで、國の基礎はいよいよ固くなり殆んど完成の域に達しましたが、天意と三千萬民衆の要望は、英邁な溥儀執政を推戴して皇帝に仰いで、更に一歩を進めて帝政を布くことゝなり來る三月一日の輝かしい建國記念日をトして國都新京で曠古の大盛典、即位の大典が擧げられる事になりました。これが爲め新京は擧げてその準備に忙殺されてゐますが、寫眞は準備を急ぐ順天廣場で、こゝでは大盛典に當つて、執政が自ら天を祭り、天に祈り、天の意をうけて擁竊の御禮を行はせられる盛儀、郊祭の儀が擧げられます。

滿洲帝國の皇帝・皇后と仰がれる

溥儀執政御夫妻

隣邦滿洲國は、順天安民の天意によつていよ〳〵帝政を實施し極東の一角に立憲君主國として出現することゝなつた。そして滿洲帝國の第一世皇帝として、新興國の象徵として親しまれた溥儀執政が君臨することゝなつた。これ啻に隣邦の歡喜たるのみでなく、友邦我が日本の同慶に禁へない所である。

× ×

滿洲帝國の第一世皇帝に君臣する溥儀執政は、明けて御年廿九歲になられた。建國匆々の滿洲國執政として、多事多難な國務を執られ、寸暇もない多忙な御生活をなされてゐられるにも不拘、非常に御健康で、天津に御幽居してゐられた當時と比べると見違へる程御良好の由である。每朝七時半にはキチンと御起床になり御入浴の後、簡單な御茶を召上り、次いで各新聞を御閱讀なされる。それが終ると側近者にいろいろ御下問あらせられ、午前九時から政務をとられ、又謁見が許される。御就寢なされるのは、午後十時乃至十時半であるが、その間極めて御多忙の中にも御寸暇もあれば讀書に親しまれる。日常の御衣食住は極めて御質素で、平素の御召物は大抵は洋服で儀式の時には、支那服または燕尾服またはモーニングを召される。御食事は普通御質素な支那料理を召されるが、時々洋食を御召上りになり、特に御好きなのが日本料理で、一日一回は必ず味噌汁を缺かさぬ事になつてゐるさうだ御運動は主としてテニスと御乘馬であるが、殊にテニスは御上手で、執政府內に設けられたコートで鴻秋夫人その他側近の者を御相手に、よくテニスをなされる。夜はラヂオを樂しみ或は讀書で過ごさせられる。かくて王道樂土の實現に邁進する溥儀氏は、希望に滿ちた生活を續けてゐられる。

× ×

鴻秋夫人は、執政と御同年の廿九歲である。優れて御美しい方で、滿洲國隨一といはれる。外見非常に御病弱の樣にお噂されてゐるが、新興滿洲國執政夫人としての御心勞と氣候の惡い爲めに多少おさわりがあるといふ程度で元來お强い御體質の方であるから餘り御心配はいらぬと拜聞する。只管背の君の御內助と三千萬民衆の上に意を注がれ、側近者が轉地御療養を御奬めしても、御多忙な執政の御日常を御覽になり又營々辛苦する國民の上を思ふと保養などする氣にはなれぬと仰せられて御手狹な執政府內に住み續けてゐられる。實に婦德の完備した才色兼備の夫人である

満洲帝國皇后の位に上られる『鴻秋夫人』

満洲帝國皇帝となられる
『溥儀執政』
（近影）

英明溥儀執政を第一世皇帝に 滿洲國帝政の偉業成る

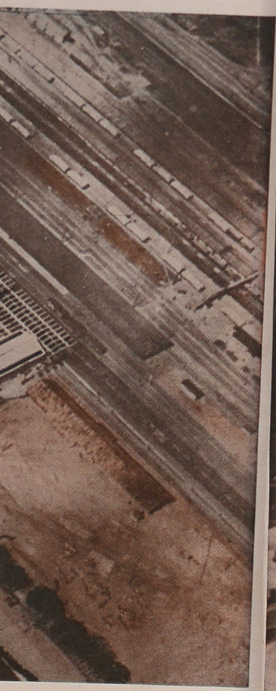
王道樂土滿洲國は、順天安民の大旨に基づいて、いよ〳〵帝政を實施し、アジアの一角に立憲君主國として出現する事となつた。

そして三千萬民衆の思慕崇敬の的である執政溥儀氏が、新滿洲帝國の第一世皇帝として、君臨することゝなり、今や全滿洲國は津々浦々に至るまで、歡喜と感激の聲に滿ち溢れてゐる。

王道樂土の大理想の下に、張學良沒落後焦土と化した地に、着々として建設の基礎を固め、産業を興隆した滿洲國は、英明溥儀執政の德望洽ねき、つひに建國僅か二ケ年にして滿洲帝國として毅然としてその威容を世界に示すに至つた。

新帝國、滿洲帝國の出現！これ啻に隣邦滿洲國の喜びのみでなく、友邦我が日本帝國の歡びに禁へない所である。

（上圖）街々に貼出された帝政實施の布告を喜び見る滿洲國人



目覺しい建設ぶりを示した 滿洲國都『新京』

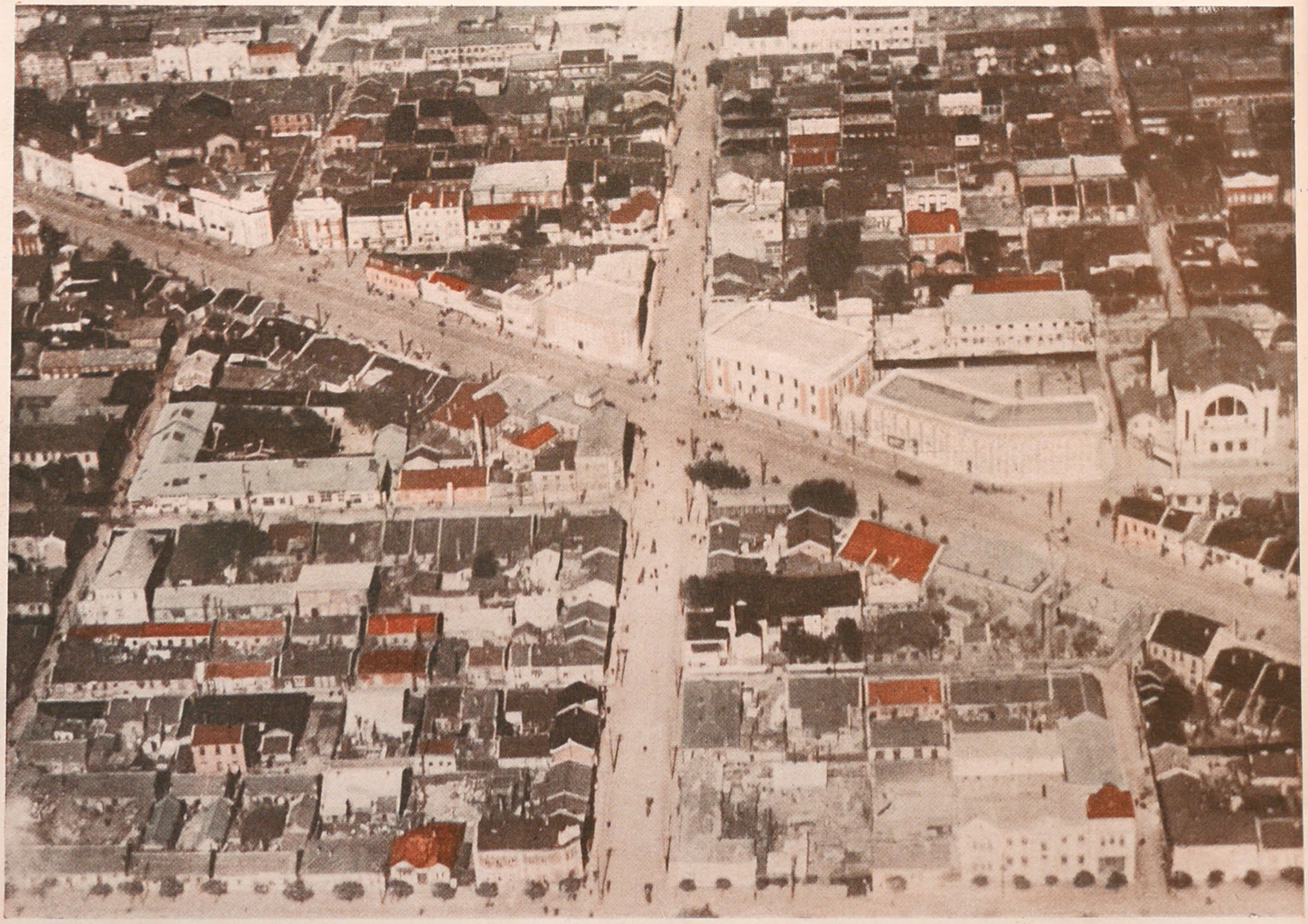
昭和七年三月一日、新五色旗を飜して、勇ましく産聲をあげた新興滿洲國が、國都新京に建國の大典を擧げてからこゝに二ケ年、その間王道樂土の大理想の下に、國民は擧げて國家建設への大難路を血と涙で歩き續けた。內に反徒匪賊の討伐に寧日なく外に日本を除く世界各國の疑惑嫉視は解くに由もなく、その苦難は全く一通りや二通りではなかつた。この內憂外患の中にあつても、上に德望彌高き溥儀執政を戴く滿洲國民は、ひたむきに國家建設への一途を辿つて來た、そして今や國內の治安も全く安定するに至り、産業も興隆して財政經濟の基本も定まつて、國際間に確固不拔の地位を築くに至つた。しかも滿洲國民はこれで滿足することが出來ず、更に進んで千古不拔の國本を定むべしとし、それには新興國の象徵として親しまれた英明溥儀執政を『我等の皇帝』に推戴して君主國として全世界に呼びかけんとの聲が澎湃して全滿に漲り、かくて曠古の大業たる帝政はこゝに實施される事になつた。かつて『人民の向ふ所天命知るべし、朕また何を好んで一身の利益より億兆人民の希望に逆はんや』と悲痛な退位の詔書を發せられてから廿二年それが今は正反對の意味を帶びて溥儀執政が、而もその父祖發祥の地に登極する事になつたのも誠に目出度い極みである。

× × ×

滿洲國の躍進！これこそ誠に世界の驚異である。この素晴らしい躍進ぶりを如實に示すものは、國都新京の建設である、建國までは、滿洲の名もない一小都市に過ぎなかつた長春が、新興滿洲國の國都と決定して新京と改稱され、素晴らしい國都建設を開始してからまだ漸く一年に過ぎないがあの田地と沼と澤の名もない郊外の寒村が、またゝく間に近代都會としての威容を整へつゝある。この國都建設の急速ぶりは、新興滿洲國の燃ゆる意氣の發露であつて、滿洲國そのものに大きな疑問符を附して滿洲國を跡にした歐米人でも半年も經て再び新京を訪れゝば、その急速な而も堅實な歩みに一驚しないものはないといふ。かやうな更生と新興の事實を實證したものは世界に未だかつてないといはれてゐる。新京驛前中央廣場から中央通りを一直線に西公園の一角を崩して廿五間通りが限り無く西へ延びた所『大同大街』となり、東洋建築の粹を集めた我が關東軍司令部の大建築を右にして『大同廣場』放射線道路の中心となつて司法部、國都建設局、交通部等の官衙が甍を並べてゐる。この驚異的國都建設は、目前に迫つた滿洲國空前の大盛典によつて更に拍車がかけられてゐる。

× × ×

（右頁）新京の銀座、大馬路
（左頁上圖）新京驛前廣場
（左頁下圖）新京の日本橋通り



帝政平和を象徴する 滿洲國政府のポスター

新帝國滿洲帝國は決して清朝の復辟ではない、とは滿洲國國務總理鄭孝胥氏が一月廿日帝政實施に當つて中外に發した聲明書中に强調したところ、つまり枯木に花が咲いた樣なものでなくて、新らしい國家生命の躍動である。天意と地意と人意が渾然としてこの國體を見るに至つたものである。かく天の工作によつて出來たこの新國家にこそ眞の平和は訪れ、人民の安寧福祉はもたらされるのである。といふことを全滿に、より一層徹底させる爲め、滿洲國政府では、舊正月を期して、滿洲全土に、帝政、平和を象徴する宣傳ポスターを配布した。

（上圖）はその宣傳ポスター

新裝全く成つた 執政府の興運門

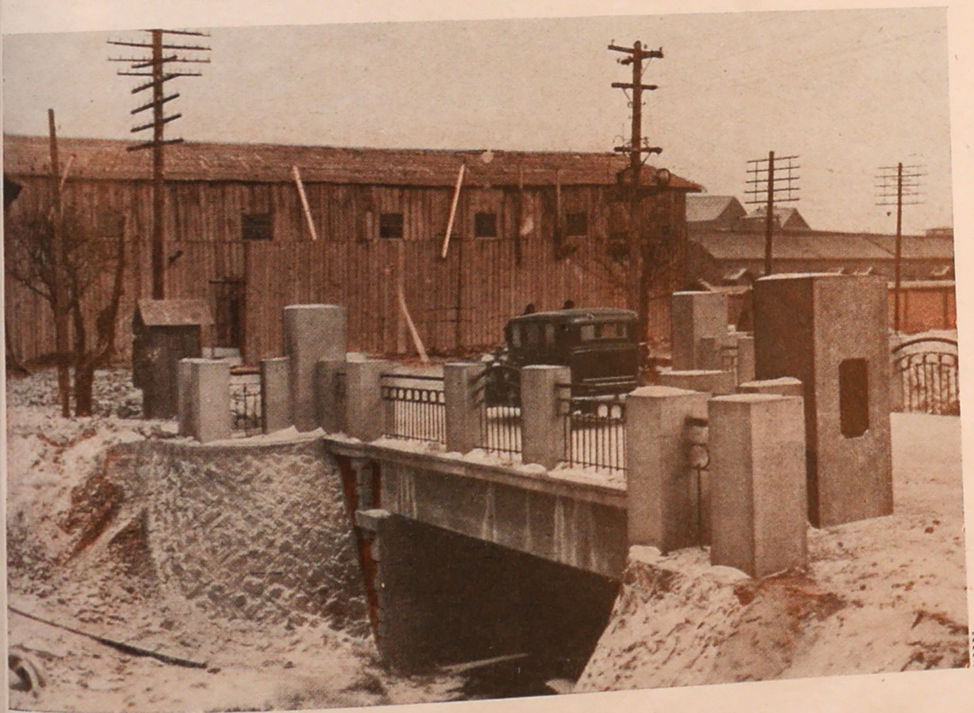
滿洲國執政府では、目睫に迫つた大盛典に備へる爲め增築、改築等を急いでゐたが、執政府の正門は全く新裝成つて、その名も興運門と名づけた。興運門は、正面には鮮やかに双龍が珠を爭ふ浮彫がしてあり、その上部には金色燦然とした興運門の四字が光つてゐる。

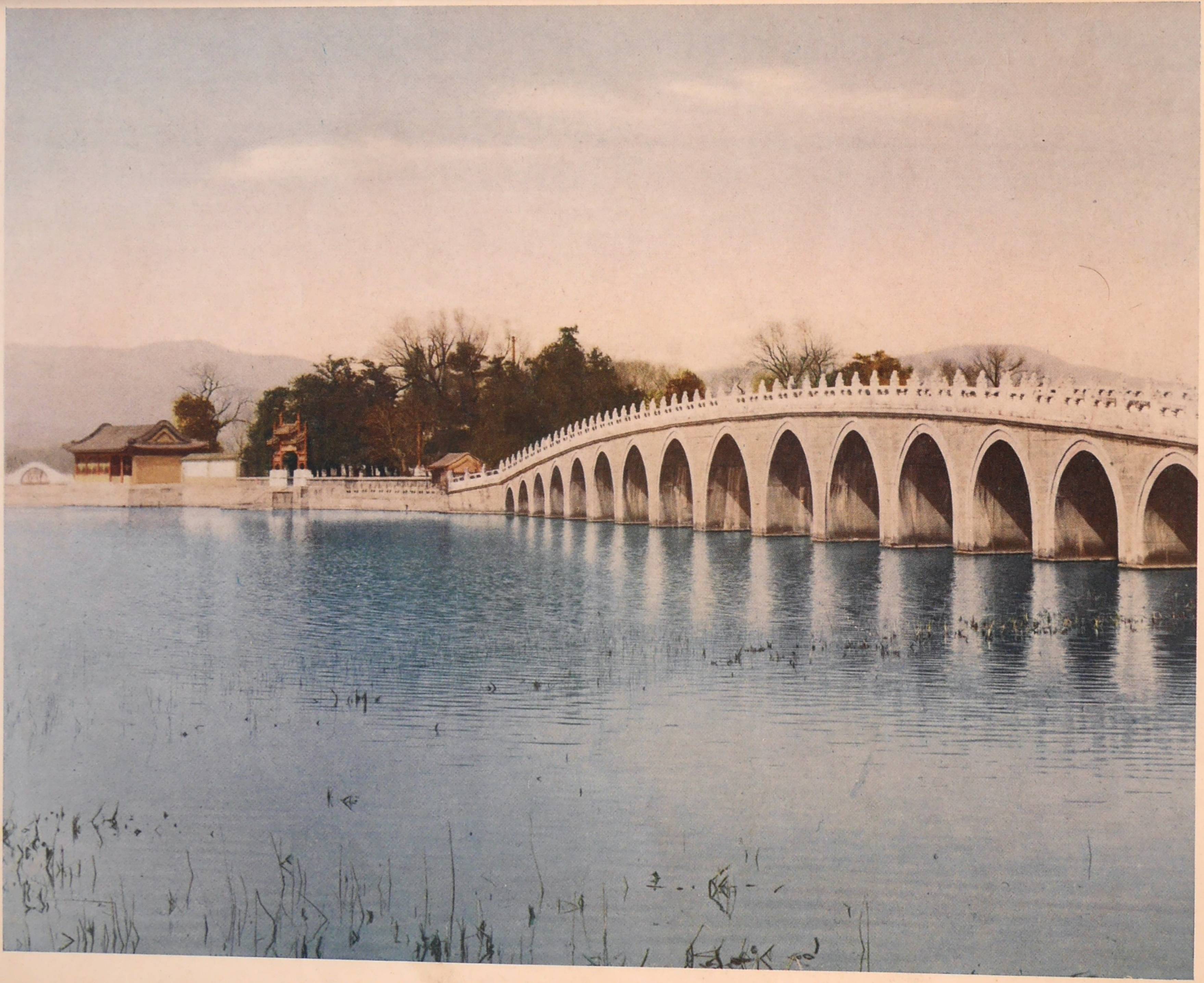
（中圖）新裝成つた興運門

完成した 興運橋

曠古の大盛典を目前に控へて滿洲國都は擧げてその準備に忙殺されてゐるが、舊臘完成された伊通河支流に跨る興運橋は既に完成した。

（下圖）は完成した興運橋、先方の板圍ひは盛典への諸準備を急ぐ工事場





北平の名勝
萬壽山の玉帶橋

北平は今の満洲國執政溥儀氏の祖先即ち大清朝歴代の首都とした所ですから、名所、舊趾、名廟、名園等實に枚擧に遑ない有樣ですが、中でも北平見物の外客が第一に足を向けるのは萬壽山です。萬壽山の風光絶佳なことゝ、情趣に富むこと、雄大壯麗なことは、世界にも稀に見るところであつて、殊に淸朝末、權勢をふるつた彼の西太后が、その時の北洋艦隊の豫算を全部この造園の費用にかけたといふだけあつて、その絢爛は目を奪ふばかりです。寫眞は萬壽山の玉帶橋ですが、これ程結構の雄大なものは、彼の支那第一の風景地として知られる杭州の西湖の六橋中にも無いといはれてゐます。淸澄な水に倒影を投げてゐるアーチの曲線美、橋畔の楊柳、建物、水に浮ぶ蓮等、自然美と、人工美はよく調和して、得もいはれぬ情趣に富んでゐるではありませんか

北満視察の菱刈司令官

菱刈關東軍司令官は、嚴寒と戰ひつゝ、北満で活躍してゐる麾下の駐劄部隊及び大使館管下の諸狀況を視察のため一月十五日午前十一時飛行機でハルピンに到着、宿舎の満鐵理事會館に落付き、ハルピン駐屯の廣瀨本部隊長、チヽハルから出迎へた畑本部隊長をはじめ、日満要人の挨拶をうけたのち、在ハルピンの記者團と會見、十六日朝在ハルピン各部隊を閲兵し、日満露各要人と交歡した。(上圖)ハルピン着の菱刈司令官で、右は出迎への廣瀨本部隊長

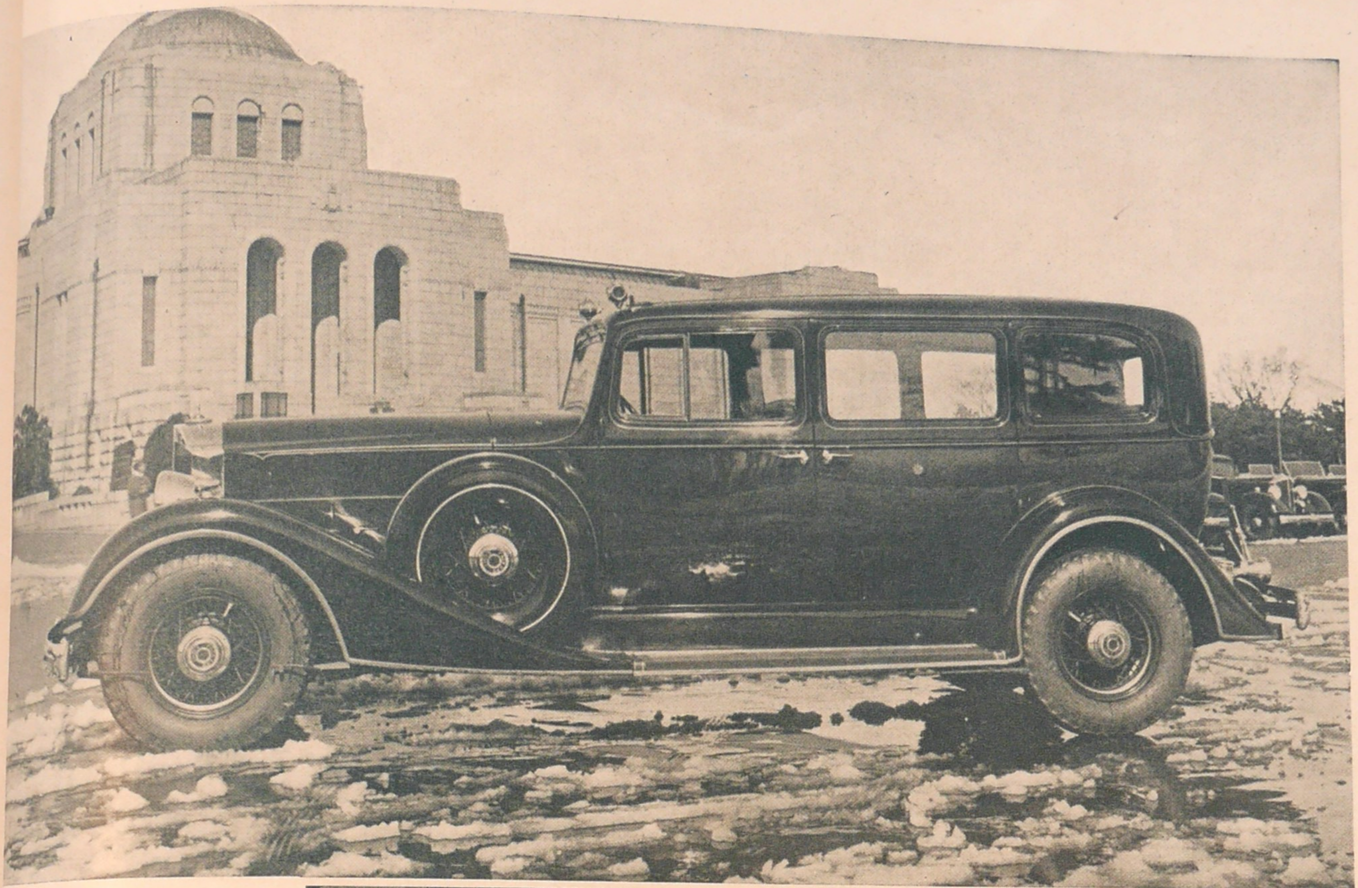
菱刈司令官の新年宴會

……満洲国要人も招待して……

菱刈關東軍司令官は、一月十三日午後六時から、大使館の官邸に、満洲國國務總理鄭孝胥氏以下、各部總長等満洲國側要人全部を招待して盛大な新年宴會を催し、晩餐を共にして種々懇談、相ともに輝かしい新年を祝した。(下圖)はその新年宴會で、珍しくも和服姿で立つて挨拶してゐるのが菱刈大使

輝く帝政の發表
―・―
感激に充つる
その日の国務院

友邦滿洲國は、順天安民の天意によつていよ〳〵帝政を實施するに決し、一月廿日これを中外に宣明した。
この日午前九時、意義ある重要會議の開かれる國務院には鄭總理が先づ威儀を正して、令息鄭禹氏を帶同して總理用自動車で乘つけ、續いて參議府議長張景惠氏以下各參議、謝外交總長以下各部總長、遠藤總務廳長、三宅法制局長、各部總務司長等が次々と緊張の面持ちで乘り込むかくて滿洲國政府首腦部全部を網羅する帝政實施準備委員會總會は、午前十時から總務廳大會議室で開かれた。先づ委員長鄭孝胥氏は議場の中央に着席、續いて感激に身を慄はせつゝ各委員も全部着席やがてこの畫期的國策の遂行を議すべく鄭委員長は起つて『國民の熱誠と、天命既に溥儀執政に下るとき、愈々執政に皇帝即位を懇請すべきである』と提議し、各委員もまた異議なく、委員長の提議に隨つて、こゝに全滿民衆の請願は正式に政府當局の受理するところとなつた。
そこで午前十一時、鄭國務總理は、會議の終了を宣し、秘書官の、令息鄭禹氏を伴つて、自動車を驅つて執政廳に向つた鄭總理は、直に溥儀執政に面謁して、全國民の皇帝奉戴請願書を恭しく捧呈した後『天意の存するところを深く察せられ順天安民の大志に遵由して、滿洲國皇帝の御位に即かれんことを伏して冀ふ』旨を執奏申上げ、溥儀執政の御内諾を得て退下、午後四時、國務院において、帝政實施の聲明を中外に發表した。
かくて新興滿洲國の國基を永久的にかたくする帝政實施のことは、こゝに最後の決定を見るに至つたのである。
(右頁上圖)國務院に於ける帝政實施首腦部會議
(右頁下圖)國務院玄關前、車寄せの雜踏
(左頁)國務院に於て聲明書を發表する鄭國務總理



晴れの御盛典に御乘用の滿洲國皇室御料車

來る三月一日、輝く卽位の大典に際して、第一世溥儀皇帝が乘用せられる皇室の御料車は、去る一月中旬から東京赤坂溜池の三和自動車株式會社で謹製中であつたが、この程完成した。御料車は米國パッカード製作のセダン・リムジン三四年型で、非常に華美を極めたものである。（上圖）

病めども朗らかに帝政を發表する丁公使

全世界に向って帝政を聲明した佳き日、麻布櫻田町の滿洲國公使館は歡喜と感激に滿ちた。身は病めど、喜悅滿面に丁士源公使は帝政實施を記者團に發表した。（下圖）

初代駐日大使の噂のある趙欣伯博士

帝政實施を天下に聲明した滿洲國では、郎位大典を擧行の後引續いて憲法の制定發布をみ、更に地方行政の改正、官制の變革をみて、ゆるぎなき國礎を定める事になるが、それに從つて駐日公使も大使に昇格する筈で、その初代大使としては目下滯京して憲法制度調査中の趙欣伯博士が任ぜられるとの噂である（上圖）帝政實施に喜びの趙博士――高輪の滿洲國憲法調査辨事公署で――

滿洲國帝政實施の隱れた功勞者

池部みつ子さん（下右）

春回り來つた溥儀執政の佗しかりし昔を偲んで陰ながら懷舊の涙にむせんでゐるのは池部みつ子さんである。みつ子さんは廢帝となつた執政が馮玉祥のクーデーターで紫禁城を逐はれ遂に日本公使館（時の公使は芳澤謙吉氏）に逃れて來たられ當時、夫君池部政次三等書記官と共に親しく執政御夫妻の御世話を申し上げた人である。

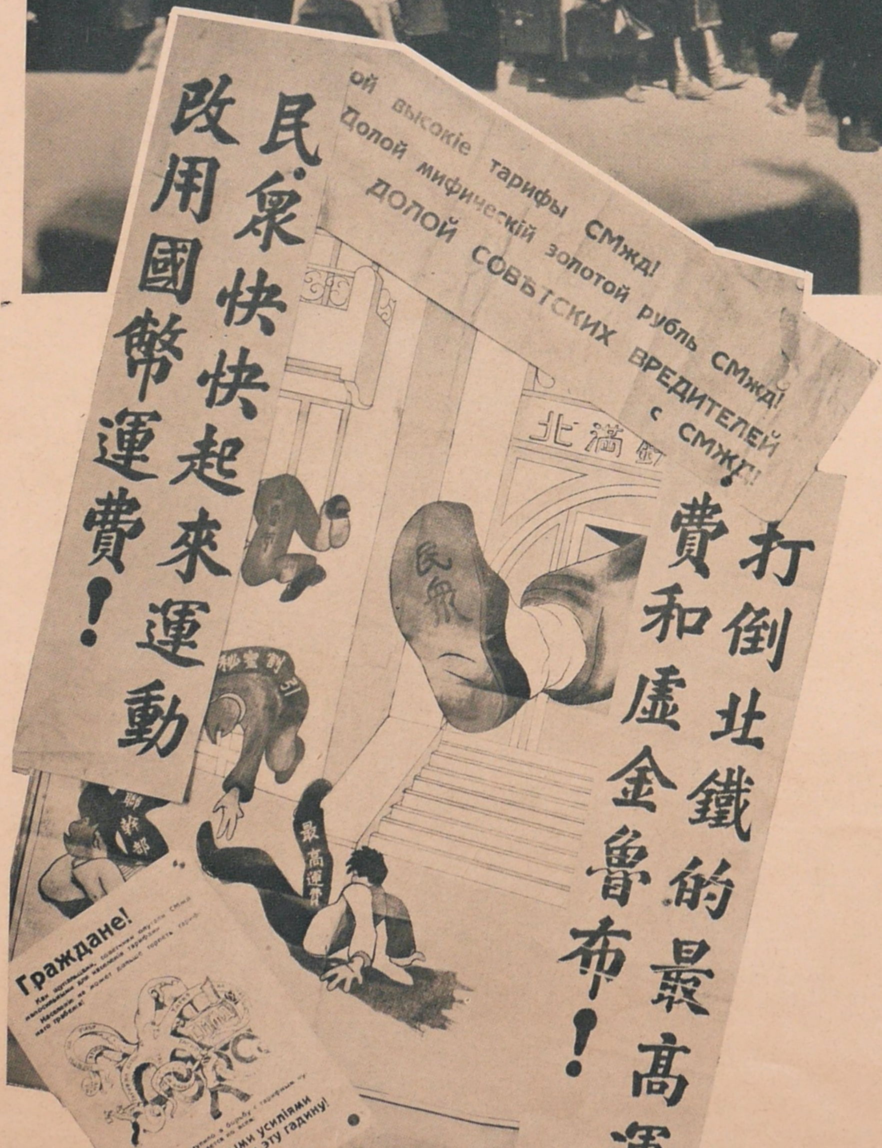
川島浪速氏（下左）

川島浪速氏といふよりは例の男裝の麗人川島芳子孃の養父といつた方が分りが早い。氏は滿洲國帝政最初の提唱者である。今は川島芳子さんの妹廉子さんと共に、信州黑姫山麓に悠々自適の生活をしてゐるが、今度の帝政實施に定めし感慨無量であらう。

ハルピン未曾有の大デモ

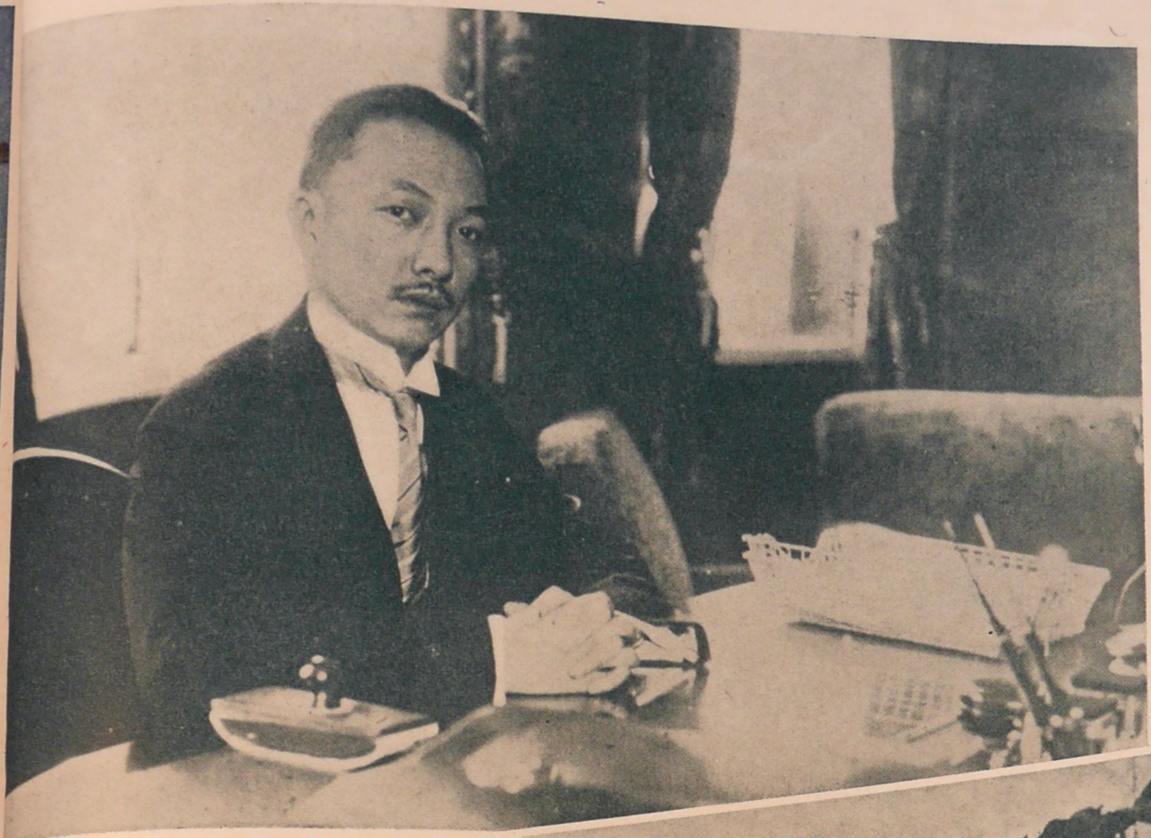
北満鉄路の値下でソ聯幹部の人形をかゝげて——

東京に於ける満ソ間の北鐵讓渡交歩は、



東京に於ける滿ソ間の北鐵讓渡交渉は、我が國が熱心に斡旋してゐるにもかゝはらず、ソヴエート、ロシア側の不誠意のために、全く停頓狀態に陷つてしまつたが、地元のハルビンでは、在住の滿、露、蒙古人などは、一齊に北鐵のロシア側幹部排擊の火の手を上げた。北鐵を露滿で共同經營してゐるから運賃が高いのだ、この高率運賃は、實に北滿の經濟界を萎縮せしめるものだ、といふのが住民の叫びである。この叫びは、日を經るに從つて益々猛烈となつて、一月十一日にはハルビンでは一大デモを敢行、翌十二日にはハルビン大會を開催して氣焰を上げ、街頭には滿、露、蒙古語等の傳單を貼り出して氣勢を添へた。全滿の民間當業者は北鐵の値下を再三北鐵の露國當局に迫つたが、こゝでも露國側は不誠意な態度を示して、これが要求を容れやうともしない。そこで一萬の民衆は、遂に目的貫徹のために、一月廿七日には激越なスローガンを押したてゝ、市内を練り廻つてハルビン未曾有の大デモを敢行した。當日約五千の白系露人が『民衆の仇敵』と題した北鐵理事パントオラ氏の人形を押し立てゝ練り歩いたのは、特に目立つた。

(右頁)民衆の仇敵と題して、民衆が押立てゝ歩いたパントオラ氏の人形
(左頁上圖)キタイスカヤ街のデモ行進
(左頁下圖)値下運動の傳單



滿洲國實業初總長
張燕卿氏の御芽出度

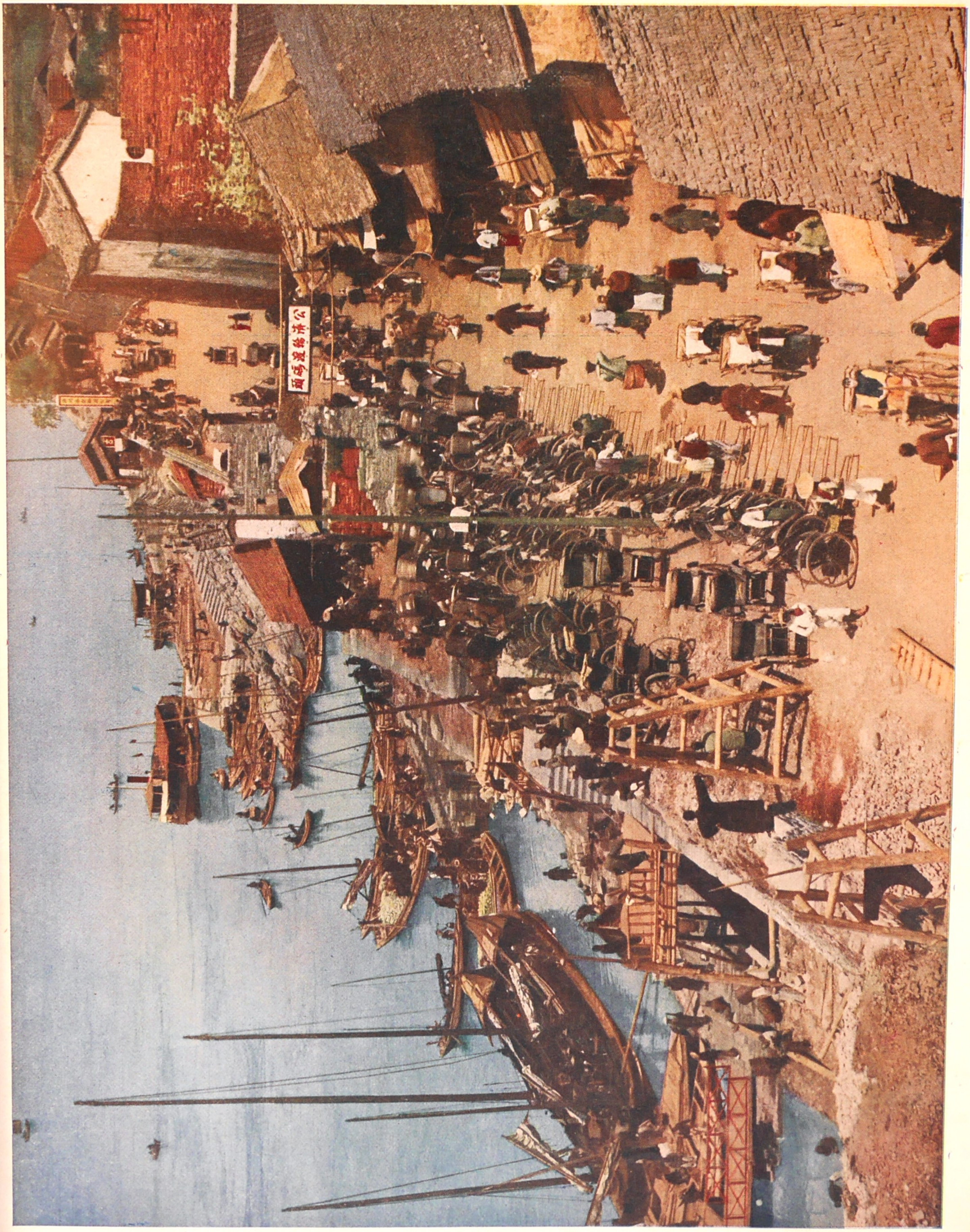
新興滿洲國の青年總長として知られてゐる實業部總長張燕卿氏は、先年愛妻を失くして以來孤獨でゐたが、滿洲國帝政の喜びと共に氏にも春が訪れて、今度結婚することになつた。新夫人は、先夫人の妹さんの、龔安蕙女史(三十三才)で賢淑、温順の聞えある婦人でしかも上海で、ミッションの敎育をうけた新時代の女性である。

結婚式は御大典に先立つて、二月十日新京に於いて華々しく行はれる筈であるから、晴れの御大典には、御揃ひで參列出來るわけである。張燕卿氏については今更ら語る必要もありますまい。唯、元吉林省政府の實業廳長の職にあり、滿洲建國と共に實業部總長の要職に就き惡軍閥によつて荒し散され、焦土と化した滿洲國の農、商、工の復興發展に寧日なき努力を續けて來たといふだけで足りやう。

(上圖)は總長室に於ける張燕卿氏
(下圖)張夫人となる龔安蕙女史

支那革命
風上りの武昌

上海から揚子江を約二百四十里溯りますと湖北省の武昌に達します。こゝは省城のあるところ、宣統三年十月十日、支那革命の旗はまづこゝの城頭高く飜つたのでした。古くから發達して一時は中部支那に覇をとなへた所で、有名な黄鶴樓をはじめ、名所舊蹟に富んでゐます。然し今では對岸の漢口に隆盛を奪はれた形で、堅固な城郭も朽ちるに任せ、何となく昔めいた町といふ感を與へます。寫眞は武昌の碼頭光景です。

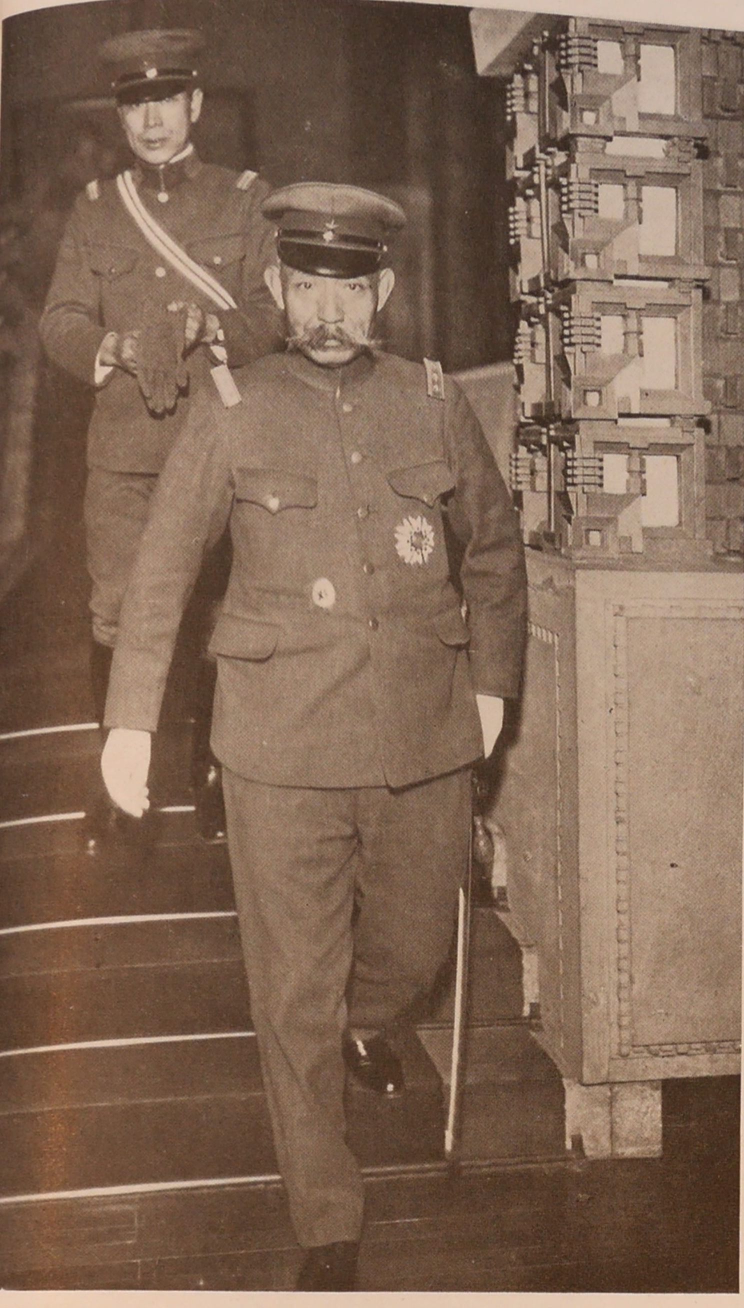


荒木さん 大臣をやめて 当分休養をする

荒木さんが流感にやられた。しかしもう回復したから安心であると云ふ事を先月號の本誌に掲げて置いたが、一月廿二日突如辭表を提出した。驚いたのは軍部内と政府の面々、今議會を直前にひかへて荒木大將にやめられては大へんだ、と云ふので八方慰留につとめたが、責任感の強い荒木さん『病身輔弼の任に堪へず』として、今度ばかりは斷じて意を飜さない、而も廿一日の深更林教育總監を病床に招き、現狀維持をもつて進まれ度い希望を述べ後事を託したので林大將も遂に内諾を與へ陸相就任と決定、教育總監の後任には眞崎甚三郎大將と決し、何等の澁滯もなく解決をみたので、各方面よりの痛惜を受けつゝ一時中央部の重職を退き今後は軍事參議官として國軍の統率に參畫する事となつたのである。荒木さんも今では殆ど全快に近く、二月一日には夫人同伴で溫泉に出掛け、餘後の養生をかねく三年有餘にわたる激務の疲勞を一時に洗ひ落して來る相だ。我等は今まで荒木さんの行つて來た功績に對し心からなる敬意を捧げると共に、切に健康を祈らう。

陸軍大臣の後任は 林銑十郎大將

荒木陸相の病氣辭任によつて、陸軍首腦部と政府ではその後任について協議の結果、荒木大將推薦による教育總監林銑十郎大將を推す事に決定、林大將の承諾を受けたので、齋藤首相は一月廿二日午後四時廿分首相官邸に林大將を招き正式に右の趣を傳達すると共に直ちに宮中に參內し、荒木陸相の辭表を執奏、御裁可を仰ぎ同時に林大將を後任陸相として內奏したかくて翌廿三日、午前九時十五分齋藤首相侍立の下に、宮中鳳凰の間において親任式が行はれた。（寫眞は廿二日首相官邸を辭去する林新陸相。）



教育総監は前参謀次長 眞崎甚三郎大將

林新陸相の親任式に次ぎ、眞崎新教育總監の親補式は午前九時三十分首相侍立の下に行はれた。新教育總監眞崎甚三郎大將は、現下の非常時日本を背負つて立つ人々――陸軍士官學校第九期生中の一人。荒木大將と並んで陸軍部內の双璧をなす名將であつて第一師團長、臺灣軍司令官等の要職を歷任し滿洲事變當時は、閑院參謀總長宮殿下の御下に參謀次長として帝國陸軍の樞機に參畫してゐたのは人のよく知る所、昨年八年の異動で大將に昇進、植田謙吉中將に次長の椅子を讓つて後は軍事參議官として、第一線から退いてゐたが、此度再び教育總監の榮職に返り咲き、手腕を揮ふことゝなつたのは、林新陸相と並んで大に期待されるわけである。（寫眞は親補式に參內した眞崎教育總監）

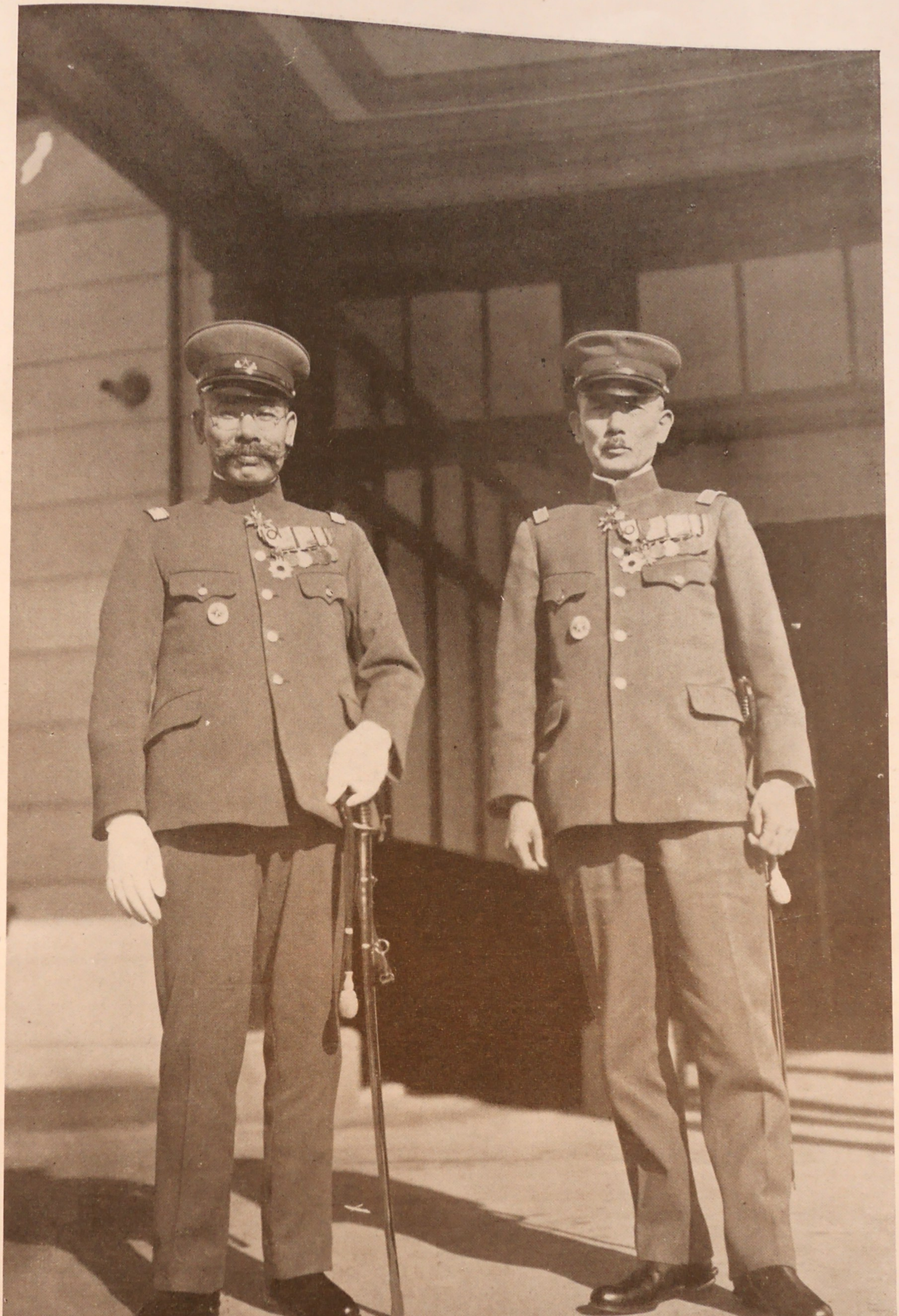
非常時日本の陸軍を背負つて立つた林大將の略歷

歡び溢れる新陸相の家庭

新陸相林銑十郎大將は、加賀百萬石の御城下金澤の生れ明治九年出生であるから今年は五十九才、士官學校は荒木本庄、眞崎、阿部、松井等の諸大將より一期前の八期生、軍事參議官渡邊錠太郎大將と同期生である。鶴の様な痩身長軀で而も豹の様な精悍さが溢れてゐる。カイゼル型の純日の美髭は荒木前陸相の餘り濃くない八字髭より一寸ハイクラスだが、大の喫煙黨で絶へず右手に煙草をつまんでゐるので、この立派な髭もニコチンで少し許り黄色くなつてゐると云ふ事だ。

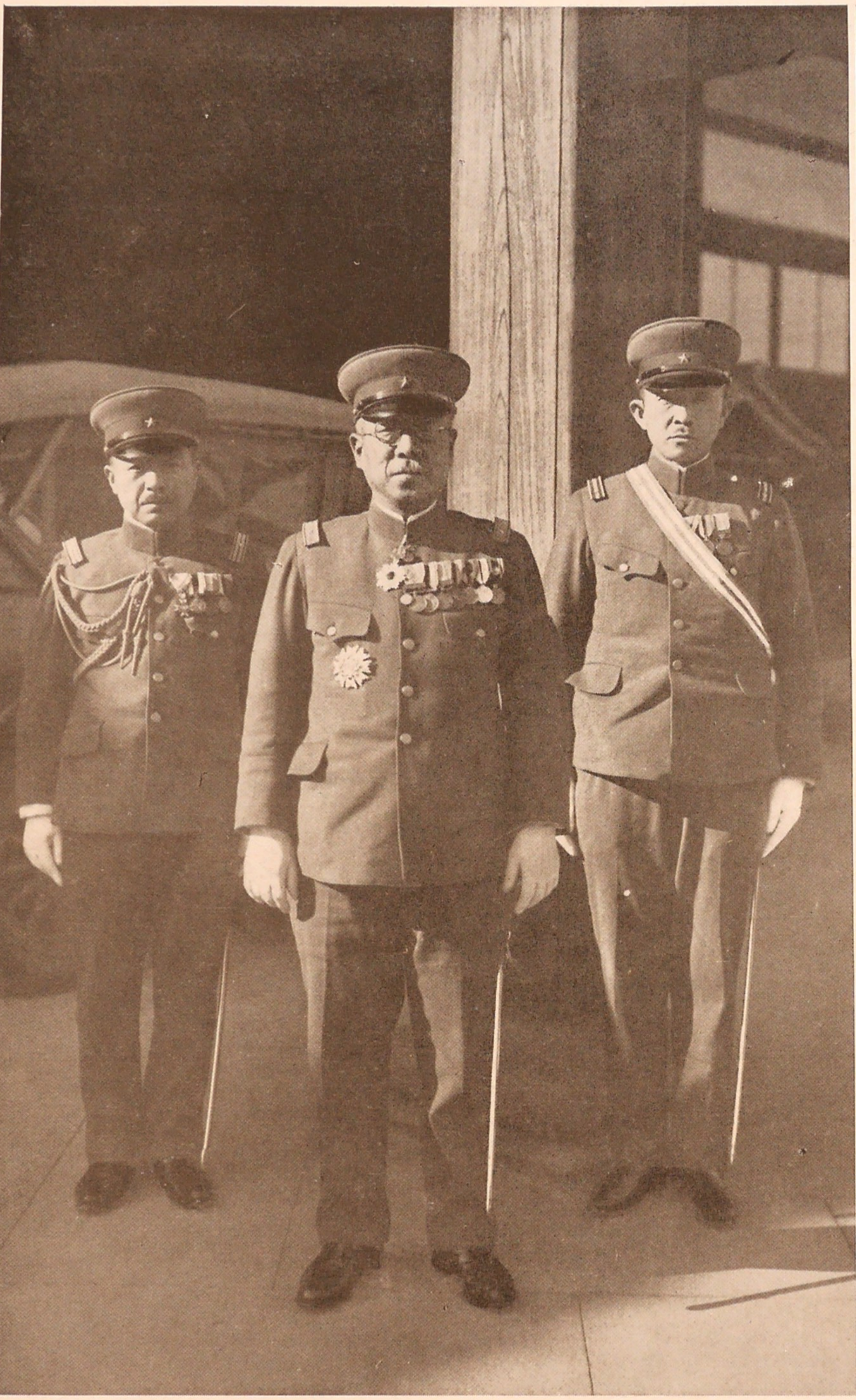
この容貌の如く、人格圓滿謹嚴剛直の典型的な古武士で部內からは『今西郷』『乃木大將の再來』とか云ふ光榮のニックネームをいたゞき青年將校の間にも『人格者林將軍』として一身に信望を擔つてゐる。日露戰役當時は元氣一杯の歩兵大尉、第九師團の一戸旅團の副官として出征、旅順磐龍山、東堡壘の第一回攻擊を敢行全滅に瀕した歩兵第七第三十五の兩聯隊を救援して、勇猛果敢な働き振りを示し『猛將林大尉』の名は天下の靑少年の血を湧きたゝせた。この戰功によつて軍人最高の名譽たる感狀を大山司令官から授與された程である。

滿洲事變勃發當時は中將で朝鮮軍司令官として京城に在つたが、北大營攻擊がはじまるや關東軍の危急を救ふため中央部の命を待たず、自ら麾下に動員令を下し、嘉村少將の第〇部隊をして鴨綠江を渡らせてしまひ、又もや『獨斷專行居士』の綽名を頂戴した。しかし自らは『大權の命を待たずして軍を動かし、罪死に値す』と白裝束となり切腹を覺悟して中央部からの命を待つたといふ。――大將の人格を偲ぶにたる挿話である。五一五事件によつて齋藤內閣が成立の際、荒木陸相の辭意固く、林大將の陸相就任が傳へられ、陸軍中央部から飛電によつて朝鮮を出發はしたが上京の途中荒木陸相と大臣の椅子を讓り合ふ電報戰を演じ遂々荒木陸相を留任させ、自らは武藤大將の後任として敎育總監に納つた。この同じ內閣に遂に陸相の椅子に座ろことゝなつたのであるから新陸相も感慨無量なるものがあらう。この鬼將軍林大將も家へ歸れば孝行な息子であり、よきパパさんである。前に云つた樣に煙草は好きだが酒は嫌ひ、刀劍をみたり、讀書する事が趣味。そして之は餘り大きな聲では云はれぬかも知れないが浪花節がお好きだと云ふ話。（寫眞は陸相就任を承諾した夜の陸相と家庭の人々前列右から三　敏子さん、林陸相、四女滋子さん、澤子母堂、後列右から五男錦平君、次女倫子さん、初治夫人。）



高波・牧野兩少將
在滿中の任務を奏上

精悍な高波部隊を率ゐて、蘇炳文討伐、馬占山討伐、東邊道の討匪行、熱河戰等、全滿を馳驅して勇名を轟かせ、昨年末の吉林省の討匪行を置土產として內地に凱旋した高波祐治少將と、元關東軍飛行隊長として、我が空の新銳を率ゐ、縱橫無盡に全滿の空を翔けめぐつて匪賊共を震へ上らせて今回凱旋した牧野正迪少將は、一月十八日午前十時半、宮中に參內、表御座所で天皇陛下に謁見仰付けられ、出征中の任務を奏上した。陛下には兩少將に對し、優渥なる御慰勞の御言葉を賜り、兩少將の功勞を思召され御紋付銀花瓶一個宛を賜つた。尚ほ、高波少將は一月廿九日突如待命三十一日松木大將、嘉村少將と共に豫備役仰付けられ、各方面に惜しまれつゝ勇退した。寫眞は牧野少將（右）と高波（左）の兩將軍



西部隊凱旋して杉原部隊駐滿を命ぜらる

在滿二ヶ年、山海關の戰に、熱河の戰に、長城線の治安に、不朽の武勳を樹てた西部隊は、今回内地に歸還する事となり、その交代として杉原本部隊が派遣せられる事となつた。西本部隊は、昭和七年四月滿洲に出動爾後遼西方面の守備に當り、同方面の匪賊討伐、治安の回復につとめ八年一月二日から開始された山海關の戰鬪に參加して武名を馳せた事は世間周知の事である。これより先、鈴木部隊は昭和六年十一月、大命を奉じて滿洲に出動北滿方面の治安に任じてゐた。八年二月下旬以來、我が關東軍は滿洲國軍と協力して熱河を肅正する事となり、西部隊は坂本部隊等と共に疾風的活躍によつてこれを成し遂げ八年五月卅一日北支停戰協定の成立をみて、東洋平和に一光明を與へた事は、まだ我々の耳目に新たな所である。以來西部隊は熱河省承德にあつて、熱河長城線の治安に任じ今日に至つたものである。

西本部隊長と交代に、新に滿洲の鎭めに任ずる杉原本部隊長は士官學校第十二期生で、恩賜の銀時計組、陸軍砲工學校も首席で卒業し、工兵監の要職を經て現在に至つた。

(右)は凱旋する西本部隊長
(左)は西本部隊長と交代に渡滿する杉原本部隊長、

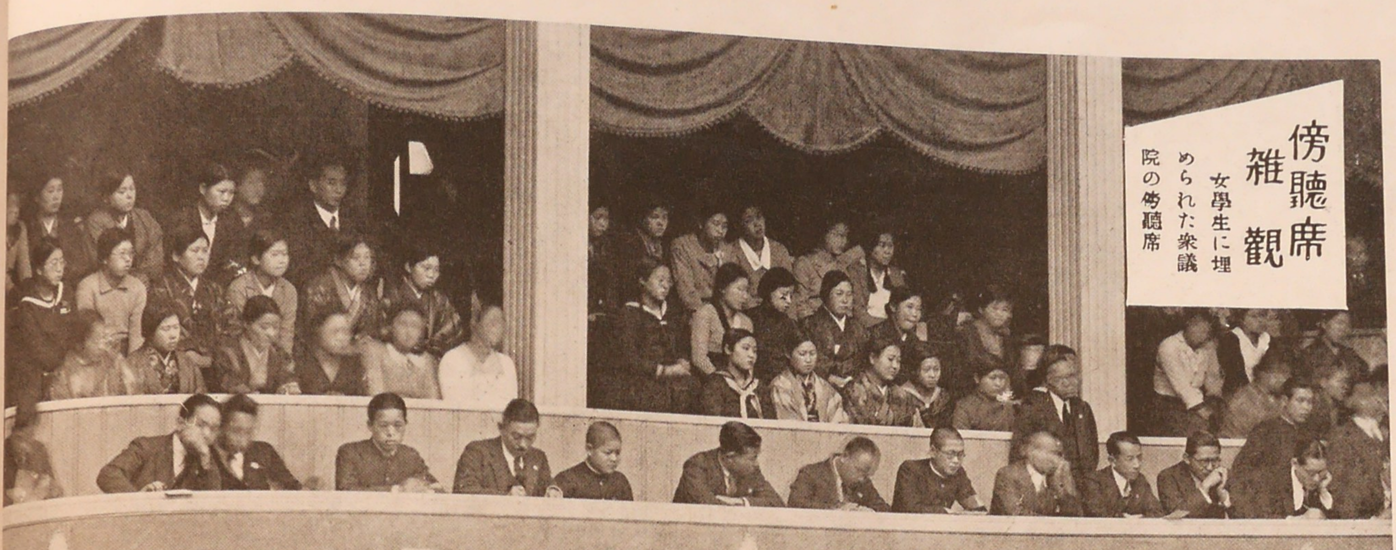
第六十五議會より

第六十五議會は、一月廿三日を以て休會明けとなりいよ〳〵檜舞臺の幕が切つて落された。この日先づ貴族院では午前十時本會議が開かれ、近衛新議長が開會を宣し、次いで齋藤首相の施政方針演説廣田外相の外交初演説の後引續いて國務大臣に對する質疑に入り、その先陣を承つて二荒伯が日本精神作興思想善導について各大臣に向つて質問の第一矢を放つた。一方衆議院では午後一時から本會議を開き、貴族院に於けると同樣、首相、外相の演説の後、高橋藏相の財政演説の後質疑に入り

その先陣は政友會の長老床次竹二郎氏が久しぶりに登壇質問の火蓋を切つた。非常時下に於けるこの第六十五議會――外には一九三五六年の國際的の危局が叫ばれ内は昭和維新の社會改革に迫られる眞ツたゞ中に開かれたこの議會――國民大衆の目と耳は一齊に帝國議會に集注されてゐる

× ×

（上方寫眞右より）外交初演說をなす廣田外相――貴族で質問の先陣を承つて起つた二荒芳德伯――豫算總會議場――海軍豫算で海相に肉薄する内田信也氏――農村問題で質問する町田忠治氏――（右下）は中々うまいと評判の林新陸相の答辯ぶり――左右兩頁は衆議院議場、



近衛議長の表情

アヽ、さうか

エート、誰でしたつけと

さて、質問の順序は……

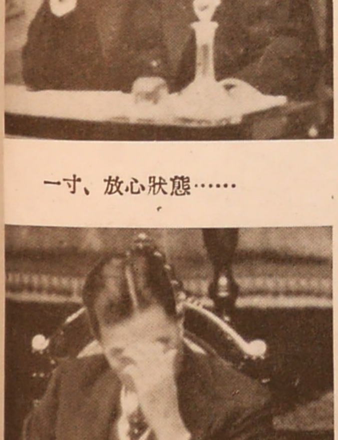
廣田外相の施政演説を拜聽

一寸、放心狀態……

『議長』……とよばれて……

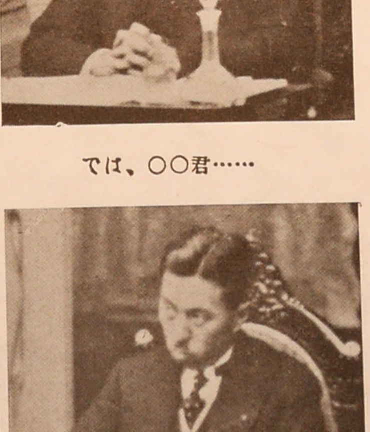
早く御登壇願ひます

では、〇〇君……

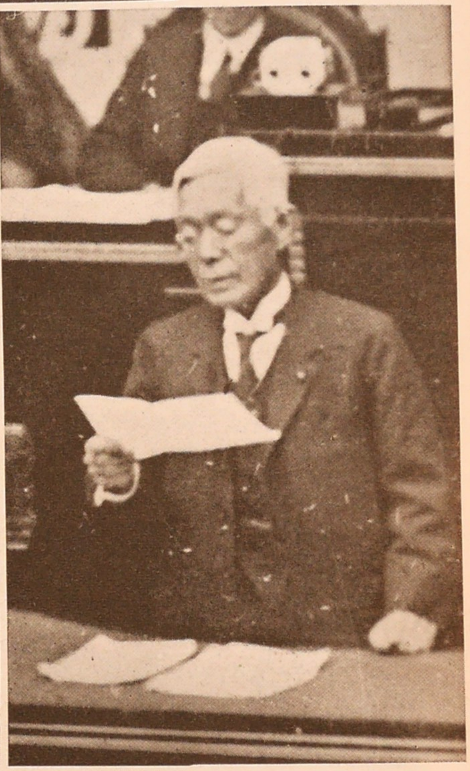

チトくたびれたワイ

あれとこれと……

所で、明日の日程は……と


コレコレ傍聽席の後の方が騷しいぞよ

議會政治がよいか、又は獨裁政治とすべきか、今議會は實にその分水嶺に立つてゐる、國民大衆の嚴重な監視の裡にあつては、曖昧や誤魔化しは決して許されない。そこで今議會は初めてその眞面目に立ちもどつた様だ、現内閣が擧國一致内閣であり、政民の二大政黨が準與黨の立場にあるために、すべての質疑應答には、不徹底な生温い感がないでもないが……



芳澤前外相の模範的質問
―廣田外相亦堂々持論を吐く―

元外相芳澤謙吉氏は、一月廿一日貴族院に於て堂々自己の所信を披瀝して外交演説をなした。これに對し廣田現外相またその持論を吐露して答辯したが、この元現兩外相の外交論は、我が外交の方向を極めて漠然とではあるが指示したものであるといへやう。芳澤氏は諄々として、我が國の對外的立場から説き徒らに外國の誤解を助長することは、日本に取つて不利であるとし、それが爲めには一面に於て國防を充實し、他面において必要なる外交工作を進行することの要を説いて、廣田現外相が屢々聲明した方針に聲援を與へた。在野黨のしかも政友會の領袖株たる芳澤氏が大體に於て政府の外交方針支持の演説をなしたことは特記に價するものである。これに對し廣田外相も同感の意を表し、我が國民が餘りに取越苦勞をして國民自身が神經過敏にならぬ様注意するところがあつた。（中右圖）所信を披瀝する芳澤元外相

（上圖）大臣席の（右より）林陸相、廣田外相、大角海相――林、廣田の兩相は議會は新入生であるが、大膽率直なその答辯ぶりで、他の大臣以上との評判、大角海相は何となく危かしい答辯ぶりとの事だ
（中右）綱紀肅正問題で、中島商相に迫る上山滿之進氏
（下）綱紀問題で今議會は可成り窘められさうな中島商相が、攻撃演説の要點をノートするところ

十二年振りで出獄した中岡艮一

中岡艮一が刑期を終へて出所した。大正十一年十月四日、時の宰相原敬氏を東京驛頭で刺殺した彼の名は、その後こういふ不祥事件の起る度に『中岡はどうしたらう』とすぐに世人の記憶に蘇つたものであるが、大審院で下された無期の判決も、三度の恩赦の減刑に浴して、小菅の刑務所から仙臺の宮城刑務所へと轉々、一月卅一日、十一年と三ヶ月ぶりで出所、娑婆への第一歩をふみ出した。

當時十九歳であつた彼も、もう三十二歳の中年となつてゐる。何しろあゝいふ事件の主人公が、世相の尖銳化した今日出所するので、あらゆる方面で、相異つた眼でみられて居り今後の身のふり方なども可成り注視されてゐるがその出所の日は、當局では萬一を慮つて坂梨宮城刑務所長は、六十名の看守を指揮して刑務所の内外を、又刑務所から仙臺驛への沿道一里餘りは、仙臺署長谷川特高主任の指揮する一隊が、嚴重に警戒するといふ緊張ぶりであつた。その警戒の中を、はるばる東京から迎へに來た母親のぶさんと一緒に東上、同日午後五時十分赤羽驛著列車で入京した。今後は水平運動の一兵として活躍し、また長い鐵窓生活の感想をまとめて懺悔錄を書くといふが、彼は出獄に際して、大きな理想をまるで誇大妄想といつた形でまくし立て、刑期を終へた釋放者らしくもなく、とても偉大ぶつて識者に意外の感を與へたさうで、今後の彼の行動はあらゆる意味から注目されてゐる

（寫眞は自宅に落ついた中岡とその母）

零落した往時の『橋本助役』
—原首相刺殺事件の重要關係者—

中岡艮一の名ですぐに思ひ出すのは、中岡を教唆した嫌疑をかけられた當時の省線大塚驛助役橋本榮五郎氏の事である。その後の橋本氏はどうしてゐるか、中岡が晴れて出所、白日下に更生の第一歩を踏み出さうとするとは正反對に、餘りにも零落した境遇に、運命の不遇と、世の無情を喞つてゐる。中岡教唆の嫌疑は、第二審で無罪になり、大手をふつて歩ける身とはなつたが、教唆罪で未決に收容された爲めに、後四ヶ月で恩給年限に達するといふ所を鐵道の方は馘首されてしまつた。仕方なく田端で運送屋を營んだが、それもうまく行かず、生活に困る所から、農具賣込の外交を初め、各地方を轉々してゐたが、不運の風はどこまでも氏に附き纏ふて、これもうまく行かず、尾羽打枯らした氏は一昨年春飄然郷里である宮城縣涌谷町にかへつた。そして在方を廻つては農具の取次販賣をして細々生活をつゞけてゐたが、不運の神は更に氏にとりついて昨年の七月、とう／＼中風にかゝり、手足や言葉の自由さへ缺き、今では親戚や舊友などの世話になつて漸く生命をつないでゐるといつた餘りにも悲慘な境遇にある。（上圖）身の不遇を喞つ橋本榮五郎氏

刑務所で親子の名乘り
日召の實子正次郎君 煉獄の父と對面

血盟團の盟主井上日召を父と呼ぶ槇地正次郎君—日召が嘗つて前橋市神明町に居住してゐた際槇地はつと呼ぶ女性との間に生れた——は、あの血盟團事件の發生以來、まだ見ぬ父を慕ふ情が一入募り、遂に矢も楯もたまらなくなつて、獄中でもよいから親子の名乘りを上げ度いと決意し、同市の齒科醫竹村國男氏や、市會議員の野條愛助氏等の盡力によつて、一月三十日市ヶ谷刑務所に父日召を訪れ、三十年間戀ひ慕ふてゐた瞼の父日召と手をとりあつて、親子の名乘りをあげた、（下圖）は父日召と會見した實子正次郎君（向つて左から二人目）

…、大角海相
…大體率直
…海相は

輕兆浮薄な世相を日本刀で斬る
―十九才のお孃さん―

『何がダンスです、何がレヴューです、何が麻雀です、そんなアチラかぶれの浮薄な遊びや、頽廢的な支那の遊びなどなして安閑として日を過して居るべき場合ではないワ、日本古來の劍術や、劍舞で心身を鍛錬して非常時に備へるべきではありませんか』と大いに現代の世相を慨嘆して、劍術、劍舞の指南に餘念のない若い女性が居る。これは芝の愛宕町、彌生流八世劍道師範の河合鶯鳴氏の一人娘つるさん(一九)で國粹主義の父鶯鳴氏の薫陶をうけて劍術、劍舞を修得、今ではもう父の代稽古として、毎日汗みどろになつて指南に餘念がない。今日はダンス、明日はレヴュー、映畫だ、麻雀だと遊び暮し、さては賭博で警察の御厄介になり、徒らに新聞紙を賑はす世の有閑マダムや、有閑レデイよ、少しつる子さんの爪の垢でも煎じて飲んで、その心根をたゝき直したら[illegible]

日米親善の舞踊使節 九貴三姉妹

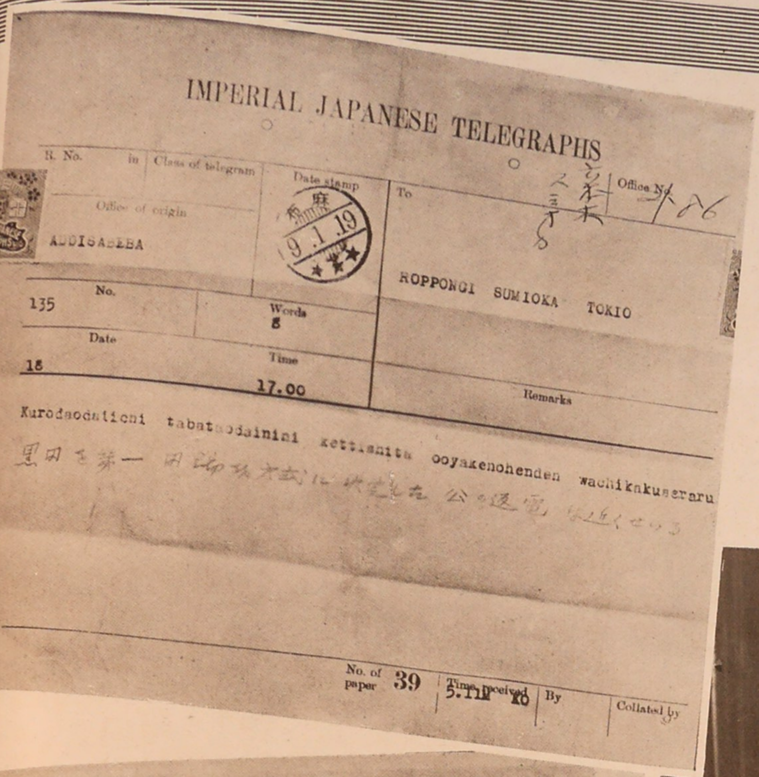
日米の關係が可成り重視されてゐる矢先、純粹の日本舞踊でもつて、この危機を幾分なりとも緩和しやうといふので、日本舞踊界の三姉妹が揃つて日米親善の私的使節として渡米するといふ床しくも愉快なニュース――この三姉妹は芝區白金臺町二ノ七日本舞踊研究所の九貴麗子、蘭子、小夜子さんの三人で、二月上旬出發ハワイを振り出しにアメリカ各都市を巡歷して在留邦人慰問を兼ねた日米親善舞踊を行ふといふ。（上圖）は向つて右から練習中の蘭子さん、麗子さん、小夜子さん

非常時にふさわしい 愛国婦人音頭

『アー大和乙女に、アノまかせて出征やれ、お國大磐石ゆるぎやせぬヨーイヨーイよとこナ……』……名づけて愛國婦人音頭といふ。非常時、非常時と餘りに緊張し過ぎて神經過敏になつてゐる國民の心持を何とか朗らかにしかも弛緩せしめずに？といふので近頃めざましい活躍をはじめた愛國婦人會がこしらへた報國運動行進曲だ、こんな全國に普及させやうと、同會では今大車輪の活躍を續けてゐる。（下圖）愛國婦人會本部の庭で愛國音頭を踊る會員

エチオピア帝国の王子姫となられる黒田雅子姫

黒人帝國エチオピヤの若き王子リヂ、アリア、アベバ殿下が、我が大和撫子をその妃の宮にし度いとの思召しで、角岡辯護士にその仲介方を依頼されたといふ報道は、何分にもそのお嫁入り先が大分變つた所である所から疑惑やら興味やら可成りのセンセーションを捲き起してゐたが、今度正式に子爵黒田廣志氏の次女雅子さんが、その王妃と決定した。はじめ花嫁候補の報が一度び傳はると、自分で

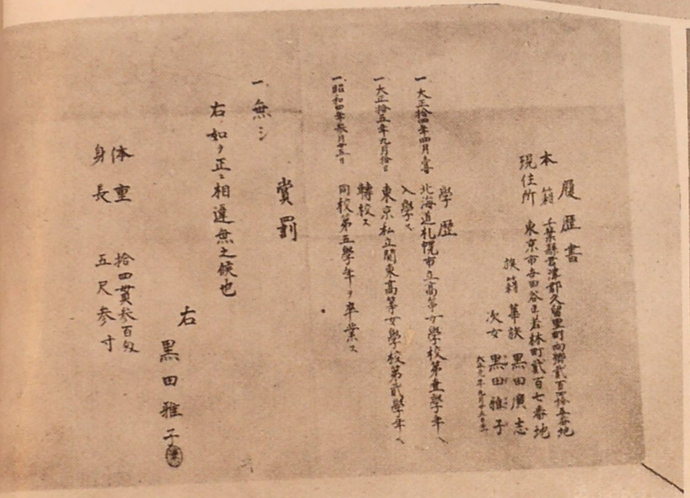

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

B. No. in Class of telegram	Date stamp 麻布 9.1.19	To
Office of origin ADDISABEBA		ROPPONGI SUMIOKA TOKIO
No. 135	Words 8	
Date 18	Time 17.00	Remarks

Kurodaaodaiichi tabataodainini kettisnita ooyakenohenden wachikakuseraru

黒田を第一 田(?)を第二に決定した 公の返電 近く …

No. of paper 39 Time received 5.11 … By Collated by


履歴書

本籍 千葉縣君津郡久留里町…番地
現住所 東京市世田谷區若林町貳百七番地
族籍 華族 黒田廣志
次女 黒田雅子 大正元年九月十五日生

學歴

一 大正拾四年四月壹日 北海道札幌市立高等女學校第壹學年入學ス
一 大正拾五年九月拾日 東京私立關東高等女學校第貳學年へ轉校ス
一 昭和四年參月十五日 同校第五學年ヲ卒業ス

賞罰

一 無シ

右如ク正ニ相違無之候也

右 黒田雅子

体重 拾四貫參百匁
身長 五尺參寸

角岡辯護士の所へ押しかけたり、血書したりした志願者が百名にも上つたが、その中からピツクアツプした十名を候補者として、アリア、アベバ殿下に選定して貰つた所、黒田雅子さんが一番よろしからうといふ事になつて花嫁の第一候補に上げられたわけである。王妃に選ばれた雅子さんは、大正元年九月生れ容貌も人並すぐれて美しく、身長五尺三寸、體重十四貫三百といふ堂々たる容姿をそなへ昭和四年東京私立關東高女を卒へた才媛である。女學校當時には庭球の選手で、日本音樂、殊に山田流の琴に堪能であるといふから全く才色兼備の代表的日本女性といへる。この雅子さんが、廣い日本に何も結婚難があらうはずはないが、鐵の様に固い信念は、反對する兩親をもつひに說き伏せて、遂にこの北アフリカの黒人帝國にお嫁入りする事になつたのである。雅子さんの固い信念とは……『日本はこれから大いに海外に發展しなければなりません、そういふ意味で私は進んでリヂ、アリア、アベバ殿下と御結婚をしたいと思つたのです』と雅子さん自身が語る僅かの數言の中に燃えてゐる。日本女性が黒人帝國へお嫁入りをする――こんな事は全く我が國開闢以來稀有なことで我が日本新女性の大飛躍を物語るものである。

(右圖) エチオピヤの王妃となる黒田雅子孃
(左上圖) 候補者が決定したといふエチオピヤからの電報
(左下圖) 黒田雅子孃の履歴書

親日黒人帝国・エチオピアの王子アベバ殿下

― 質朴な土人の生活ぶり ―

花婿のリザ、アリア、アベバ殿下は、本年廿一才になられる。元來エチオピヤは美男、美女が多いといはつてゐるが、殿下は又、エチオピヤ帝國随一の青年紳士てあられるとの事だ、色こそ黒いけれども、凛とした御容貌で、日本人に比しても決して遜色がないとの事である。花嫁の決定をみた事には非常にお喜びで、近い内に國産の珍らしい御土産をもつて御見合の爲め御來朝なされるさうだ。

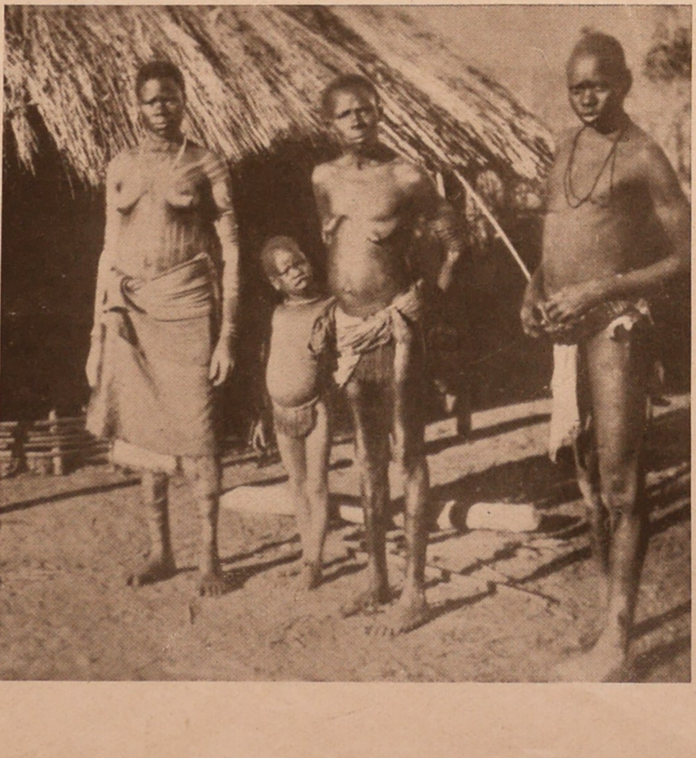
× × ×

エチオピヤ——これは童話の國だ、アフリカ大陸の東北部、面積は我が國の二倍弱、人口一千萬の古いキリスト教國である。國の周圍は累々とした岩石の大沙漠で、この千古不抜の天嶮のためにエチオピヤ帝國は他國の侵略を許さないで、建國以來三千年、皇統連綿とした歴史を保つてゐるといはれてゐる。質朴剛健な半面に、神秘と獵奇に富んだ國である。有名なソロモン王が、エチオピヤの女王メゲタに求愛し、メゲタ女王も又ソロモン王の名聲に憧れて相許し合つて、生れたのがエチオピヤの初代國王メネリック第一世だと傳へられ、それから百廿六代、三千年皇統連綿として續いてゐる。

首府のアヂス、アベバは人口卅萬の大都會をなし、外國商館があり、ホテルがあり、銀行、停車場、郵便局あり各國人を網羅した一大國際都市をなしてゐる。

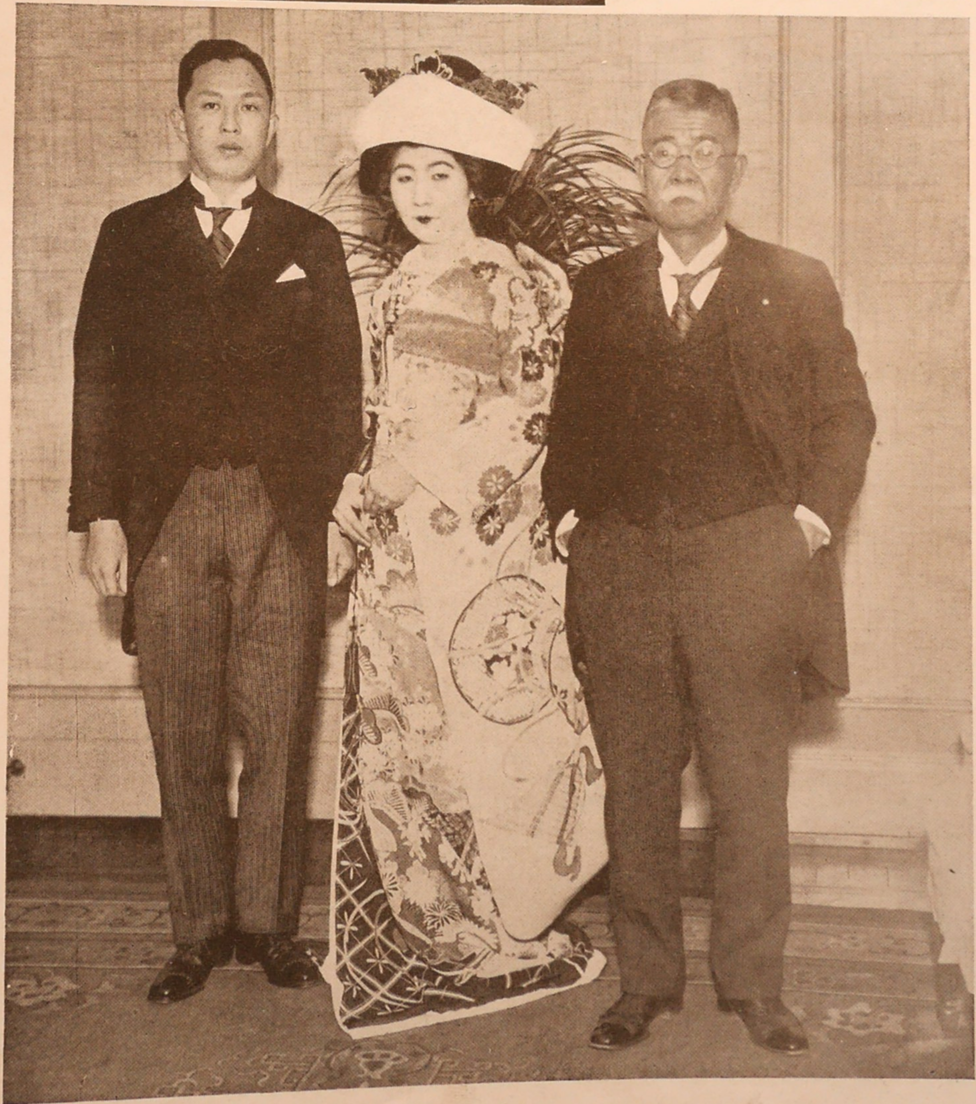
我が日本との修交條約が成つて僅か二、三年に過ぎないが、日本又は日本人に對する理解は非常に深く、國王は一人でも多く日本人の移住するを喜んで居られるさうだから、今度のこの御嫁入りなどは一層兩國の關係に拍車をかけて、國體の相似た東西の兩帝國は愈々親善を増して行くことであらう。

（上圖）アリア・アベバ殿下（下右）薪を運ぶエチオピヤの乙女達（下左）土人の住居と家族達



女大臣閣議
—首相官邸にて—

議會では、今舌戰の火花を散してゐる何しろ議會の眞價が世に問はれるといふ大事な今議會だ、從來の樣な不眞面目や誤魔化しや、曖昧は許されない。勢ひ各代議士の政府に對する質問は眞劍だ、舌鋒は鋭い。たとひ現内閣が擧國内閣の故で幾分鋭鋒に生温さはあるにしても……連日各方面から鋭く攻めたてる議會の猛者共の矢表に立つて、これに應對する各大臣の心勞は一通りではない。そこで議會で奮闘してゐる夫君に對しての内助の方法を講じやう？といふので、齋藤首相夫人春子さんは一月廿九日午後二時から首相官邸に各閣僚夫人をはじめ、各政務官、秘書官等の夫人約五十名を招待してお茶の會を催し、種々意見を交換した。さてどういふ名案？が決議されたか、それは聞及ばなかつたが（上圖）そのお茶の會



鈴木政友会総裁の令嬢 園子さんの御めでた

鈴木政友會總裁令嬢園子さんは、今回外交官補高瀬次郎氏と婚約整ひ、一月廿八日午後三時東京會館で、政界關係、其の他名士列席の下に盛大な結婚式を擧げた。（下圖）は新郎新婦と、喜びの鈴木總裁

荘厳でユーモラスなエチオピア王の行列

アフリカの親日帝國エチオピヤは現今世界で、封建制度を維持してゐる唯一の帝國です。國王は諸王の王として、全國を統治し、地方には夫々大名があつて、その地方の政治を司つてゐて、この國王と諸大名との關係は丁度我が德川時代の將軍と大名との關係のやうで、封建制度そのまゝです。諸大名が登城、下城に際しては『ドウソードウソー』の露拂ひで槍持ち、鐵砲組等を從へ行列を整へ、街を練つて行きます。然しこの傳統に眠つてゐるエチオピヤにも、時代の嵐は吹いて、神秘と獵奇は次第々々に文明の利器に破壞されて行きつゝあります。寫眞は國王の戴冠式當日の行列ですが、莊嚴な行列に比べて、兵隊の服裝や鐵砲のかつぎ方など中々ユーモラスです。そしてこの行列に雜る自動車は、何とそぐはないものではありませんか

ロサップ島の日蝕觀測隊

一月十五日軍艦春日で横濱を出發した皆既日蝕研究の學者一行は同月廿四日目的地南洋のロサップ島に到島、直ちに準備に取りかゝりました。この一行の訪問に膽をつぶしたのは三百七十餘名の土人で、開闢以來の大珍客が不思議な器械や器具を持込んでしかも白晝天變が起るといふ不氣味な豫言をしたのですからその驚き方は一通りではなかつたそうです。ロサップ島は面積は僅か一町歩にも足りない小さい島で、而も海拔僅か六尺といふ少し波でも高ければ洗ひ流されさうな島です。この島の上を皆既日蝕はたつた二分餘りでかすめ通るので、このたつた二分間の觀測に往復總計六萬圓の派遣費がかけられてゐるのです。この二分間に南洋名物の驟雨でもあると總てはオヂヤンになるわけで、觀測の結果は本誌が讀者諸君の手に渡る頃は分りませう。(上圖)春日艦上からみたロサップ島(下圖)小舟で上陸する觀測隊

皇国の誇り高らかに

建国祭の大行進

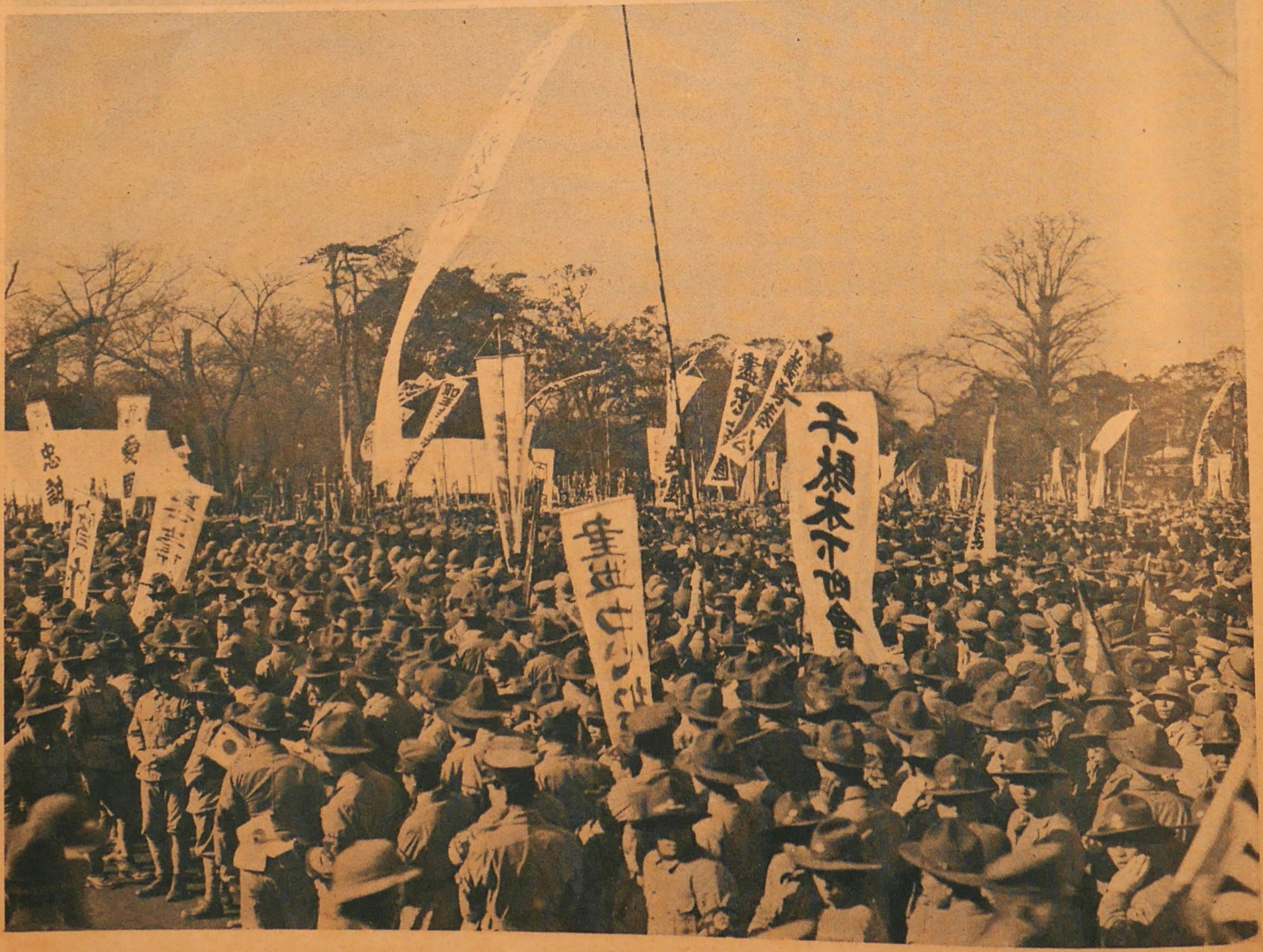
九段靖國神社の式場を出て二重橋前に向ふ大行進隊

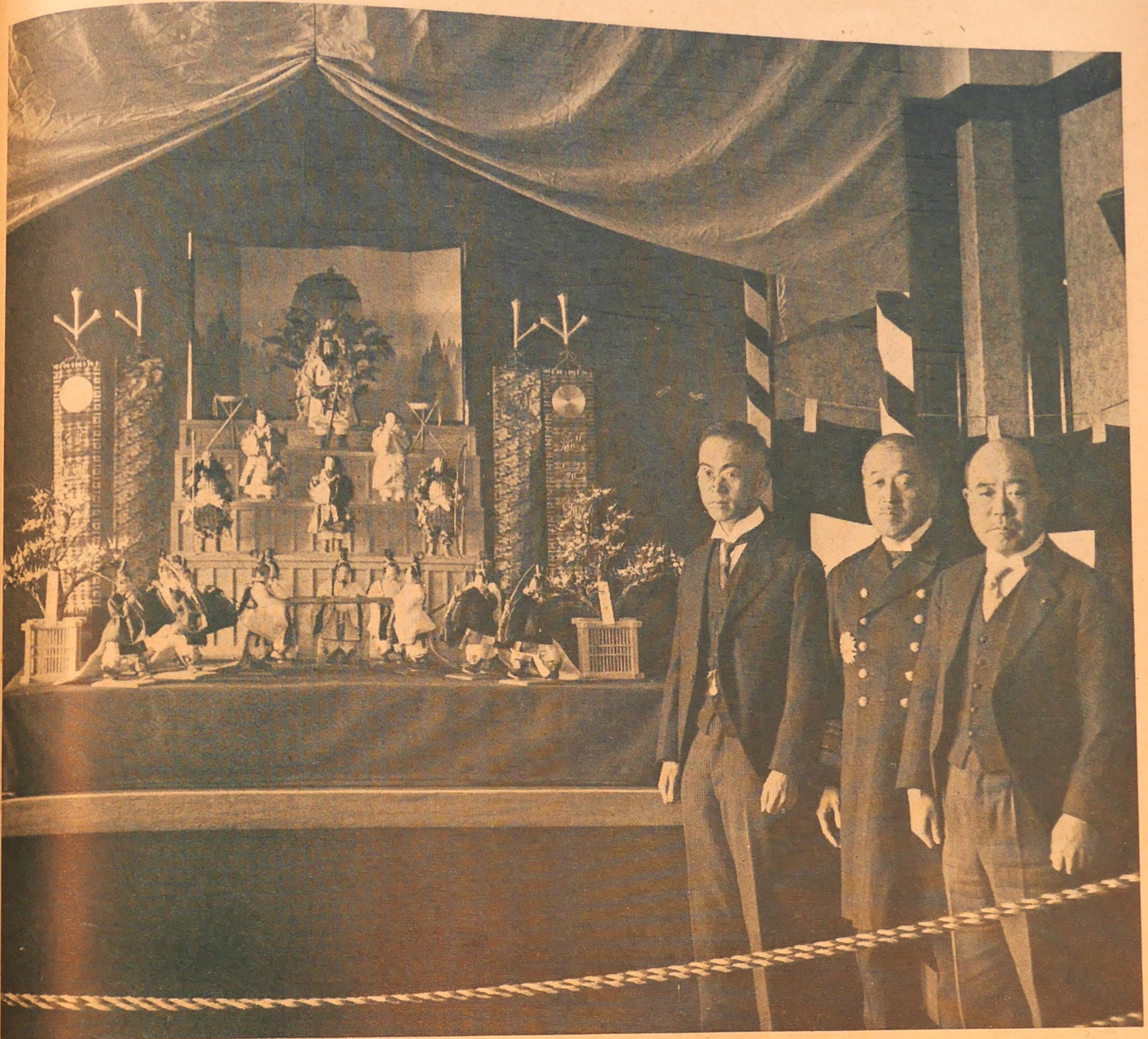
皇太子殿下の御降誕に一段と輝く第九回建国祭の盛況

年々の紀元節のめでたい事は申すまでもないが、殊に今年は、我が皇太子殿下の御誕生最初の紀元節であるので、一入我等の心を躍らせ、この國民的祝典は一段の輝きを加へた國内津々浦々はいふまでもなく、海外同胞も相呼應して寶祚の無窮を祈り、隆んなる祝福を歌つて、来るべき國際的危機ものかは躍進日本の意氣逬る絶叫を國の内外に力強く反響させた。この日この國民の燃ゆる意氣を反映して、帝都に於ける第九回建國祭は――上野公園、九段靖國神社外苑、芝公園、深川公園、明治神宮外苑、淺草隅田公園、本所錦糸公園、八王子富士森公園で――例年になく盛大に行はれた。各所とも朝まだきから霜をふんで各種團體が手に〳〵『日の丸』や『寶祚無窮』『國威宣揚』などと書いた大旗、國旗を押し立てて參集する。先づ上野公園式場では會衆約二萬と算せられ、午前十時、戸山學校軍樂隊のラッパ『氣をつけ!』で開式、次いで國旗掲揚、司會者丸山鶴吉氏の嚴かな誓文が讀み上げられ、『紀元節の歌』『建國歌』を高らかに合唱『天皇陛下萬歳!』を三唱して式を終つた。かくて軍樂隊を先頭に蜿蜒長蛇の列をつくつて、二重橋前に向つて大行進が開始された。同時に各式場よりも都大路を勇ましく堂々と繰込み、やがてさしもに廣い二重橋前廣場もこれ等大衆十萬によつて埋づまり、所定の位置では『天皇陛下萬歳』が唱和された。一方大空には民間機五機が奉祝飛行を行ひ、奉祝ビラを撒き又地上からは數百の建國風船が、風のまに〳〵高く舞ひ上り、天と地と相呼應して歡喜のるつぼと化した。かくて順次解散し、丸山委員長、三島章道子島巣海軍中將など建國祭代表四百名は明治神宮に參拜寶祚無窮を祈つて空前の祝典を終つた。(右頁上圖)參賀の文武百官――東御車寄せ(右頁下圖)九段の會場に參列した可愛いい劍容姿

(左頁上圖)上野會場に於ける萬歳三唱

(左頁下圖)上野公園式場の全景





神武天皇の御威容を偲ぶ
建國祭人形
——建国祭本部より献上——

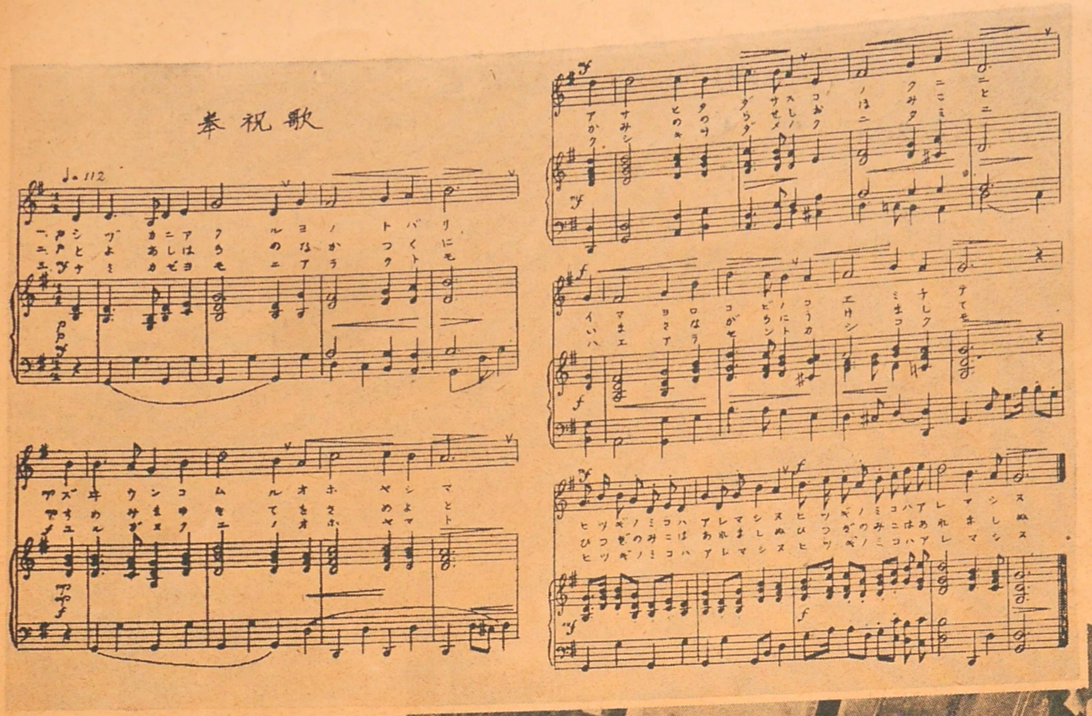
今年建國二千五百九十四年の紀元節は、皇太子殿下御誕生の喜びと合せて、我等九千萬國民は、一段の歡喜に滿ちて、皇國の誇りを高らかに唱和したが、この紀元節の佳き日が、從來、唯學校や御役所の儀式となつてゐるのを遺憾とし、將來、當日の建國祭を益々隆昌ならしめて、比類なき我が國體を祝福すると共に、當日を『梅の節句』と名づけて、各家庭でも御祝ひしやうと數年前からその普及につとめてゐる建國祭本部では、今度建國人形を謹製して、畏き邊りへ献上した人形は、淺草の久月總本店横山正三氏が、丸三ケ月、寢食を忘れて齋戒沐浴、十數名の優秀な職工を監督して謹製したもので、最上段に神鏡と神劍とを榊にかけ、第二段に神武天皇第三段には右に皇后媛蹈鞴五十鈴媛命を左に皇太子神渟名川耳尊を配し奉り、第四段は中央に天種子命、その右に道臣命左に可美眞手命を配し、下段には久米舞の樂人七名と舞人四名を配列し、兩側に金鵄旗、八咫烏旗、紀元節旗、建國祭旗や梅花を配し、背景は瑞雲たなびく朝日に綠濃き常盤木を配した中々立派なものである。尙、同人形は二月五日、建國祭委員長丸山鶴吉氏、副委員長鳥巢海軍中將が參内して献上した。

寫眞は献上した建國人形と、右より丸山鳥巢正副委員長

皇太子殿下

御誕生奉祝歌（上）

皇太子殿下御誕生奉祝歌は豫て東京音樂學校の乘杉校長外敎授の手許で謹製中であつたが二月廿日完成、發表した。今後各小學校、實業補習學校、青年訓練所、青年團、婦人會などで奉唱することゝなつた。寫眞はその曲符

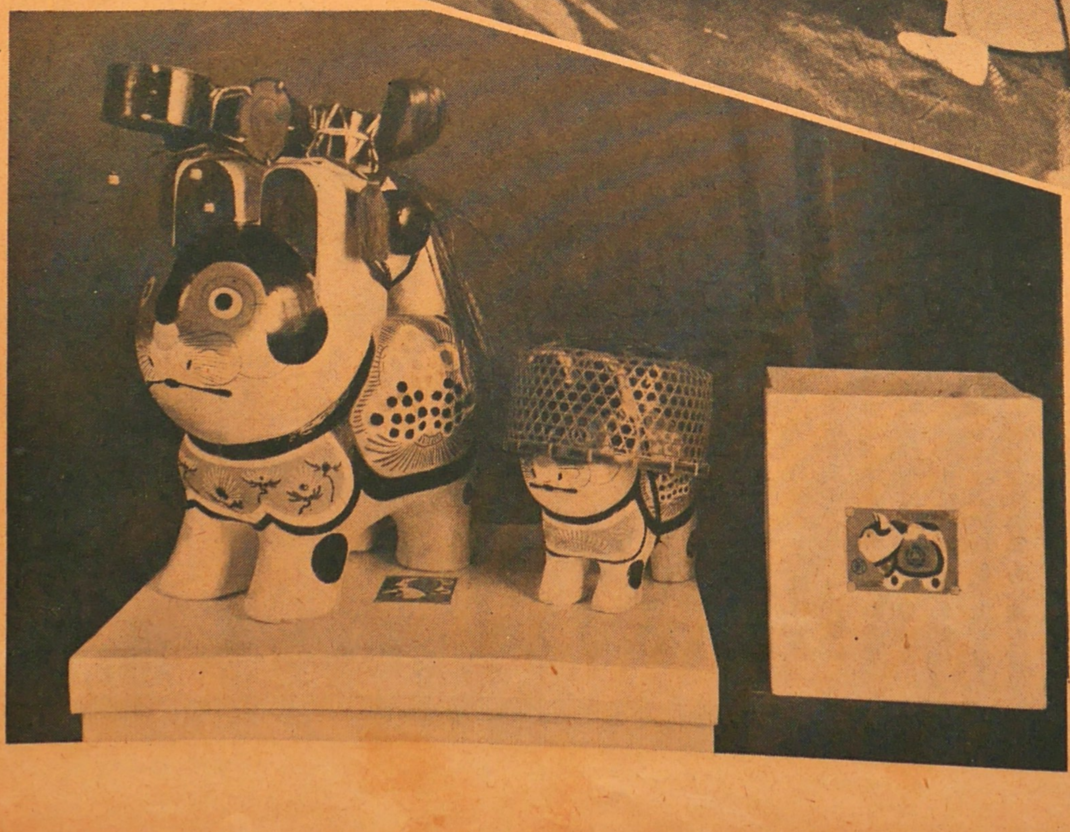


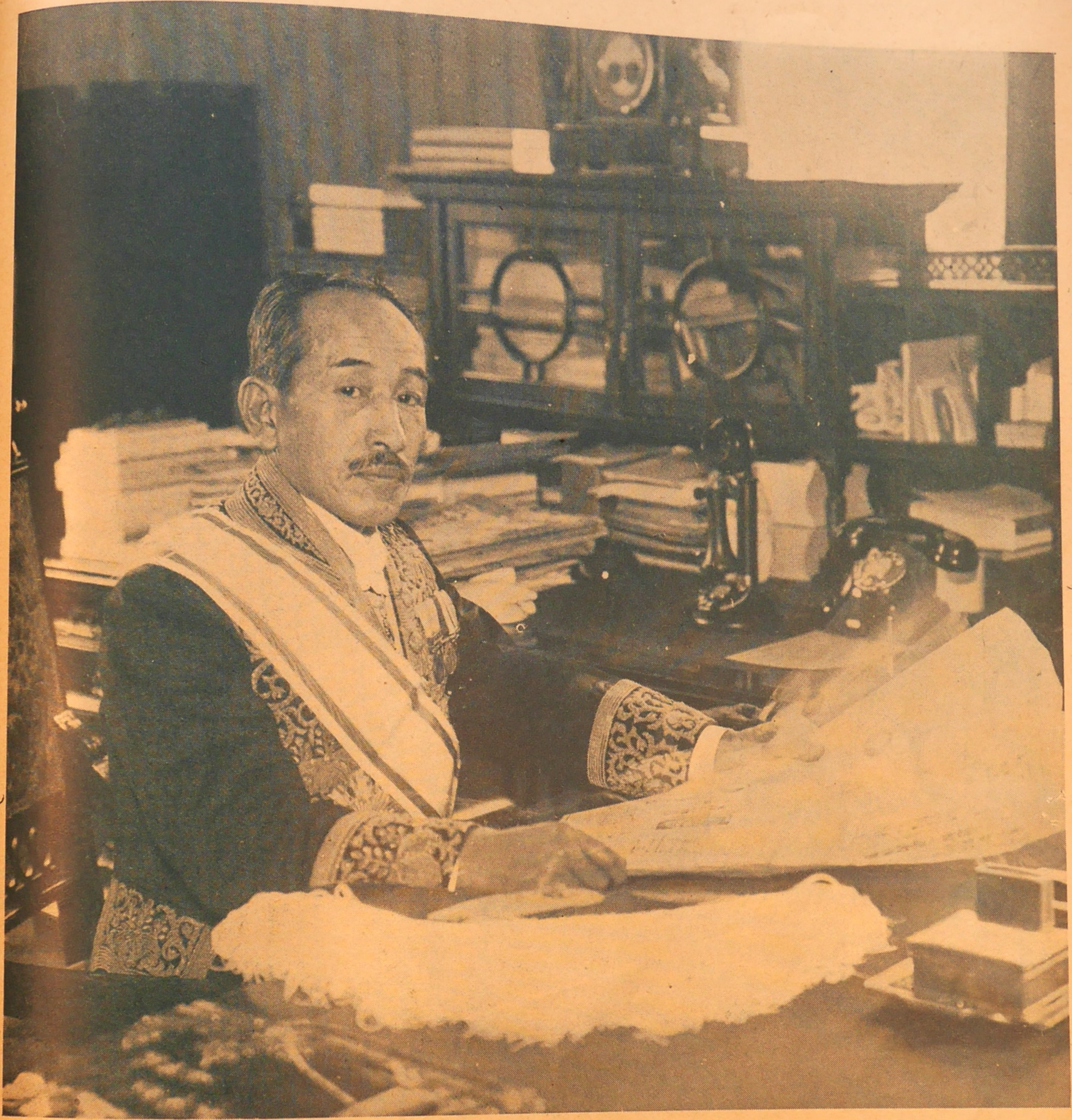
皇太子殿下の御守刀（中）

皇太子殿下の御守刀は刀劍界の巨匠大阪在住の月山貞勝氏が御下命により謹製中であるがこの程完成、近く上納される筈である。寫眞は御守刀謹製中の月山氏

皇太子殿下に献上の犬張子（下）

大江戸時代から犬と達磨の張子屋さんで有名な日本橋小傳馬町の老舗飯田新次郎氏は今度犬張子一對を謹製して、皇太子殿下に献上した。寫眞は献上の犬張子





大御心畏し 恩赦令發布さる

感激の小山法相

皇太子殿下御誕生の御慶事について その御慶びと御仁慈とを、罪人にまでわかたせ給ふ有難い大御心から、二月十一日の紀元の佳節に當つて、畏くも恩赦に關する詔書が渙發された。この恩赦の起源は、實に遠い昔にあつて、殆んど文獻の徴すべきものさへない位だが、恐らく平安朝の初期、嵯峨天皇の崩御の際に渙發された詔書が體を整へた恩赦の最初のものであらうとの事である。それから色々の場合にこの恩赦は行はれたが、勅令として恩赦を發布したのは明治廿二年二月十一日憲法發布に勅令として大赦が發布されたのがはじまりである。さて今度の恩赦で恩典に浴したものがどの位あるかといふと、減刑總數が五萬人を突破し、復權するものが總數三十六萬人に達し、合計約四十萬人にも達するといふ大多數である。

これ等大多數の、罪人にまで、一視同仁の御專澤を垂れさせ給ふた鴻大無邊なる御仁德の程、我々國民として、唯々感泣の外はないのである。

寫眞は、宮中賀宴から退下して青山の自邸で大禮服のまゝ感激して恩赦について謹話する小山法相

尊氏論が崇って 中島商相退却

・新商相は松本烝治博士・

綱紀肅正問題や、足利尊氏論などで今議會で一番窘められ、その進退を注目されてゐた中島商相は、二月八日突如辭職した。最初問題となつた製鐵合同、帝國人絹株等の所謂綱紀肅正問題はどうやら解消したやうにみえたが、何の因果か、商相が十年前或る文學雜誌に掲載し商相が全く關知しない間に不用意にも今度又現代の二月號に掲載されたといふ『足利尊氏論』が俄然表面化し、衆議院の豫算總會で國同の栗原彦三郎代議士が口火を切ると忽ち擴大し、到頭二月七日の貴族院本會議で菊地武夫男と三室戸敬光氏等が眞ッ向から痛烈に詰問したばかりでなく、齋藤首相に奏請の責があると迄追及するに至り、累を内閣に及ぼす形勢とまでなつた。そこで商相は遂に意を決して後任に松本烝治氏を推薦して、八日齋藤首相に辭表を提出した。

× ×

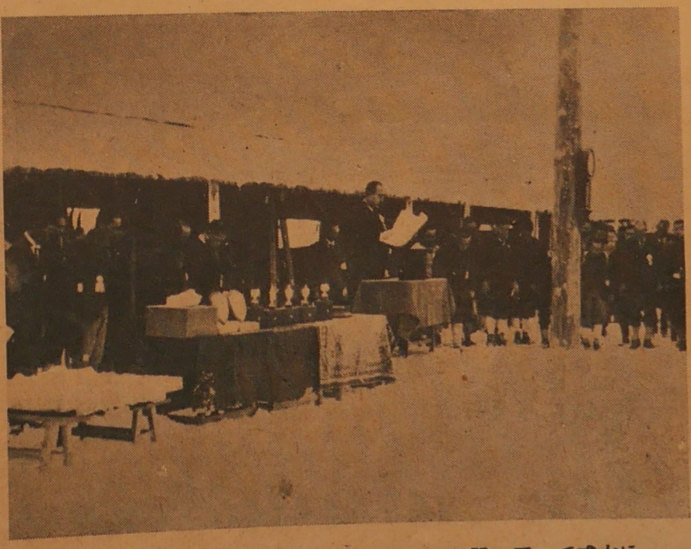
新商相松本烝治氏は、我が國に於ける商法學の第一者といはれてゐる人、明治十年十月岐阜縣士族松本莊一郎氏の長男として生れ、同卅三年東京帝大法科を卒業、農商務參事官、東京帝大教授となり、四十三年法學博士の學位をうけ、滿鐵副總裁、法制局長官等に歴任、大正十二年貴族院議員に勅任され、その後關西大學學長に就任し辯護士を開業して今日に至つた人で、商工次官の吉野信次氏や、政務次官の岩切重雄氏等は氏の教へ子ださうだ、

尚ほ同氏に對する親任式は二月九日午前十時宮中鳳凰の間に於て齋藤首相侍立の上行はせられた。

寫眞は事務引繼ぎの松本新商相(右)と中島舊商相(左)

マーチン監督以下の全濠ラグビーチーム一行廿六名は、關西の試合を了へて一月廿九日上京、帝都の各チームと試合を行つたが、の第一戰對慶應戰では、慶應攻防に非なくこの遠征軍を十六對八で敗り、第二戰對明大戰では、明大好調に乘つて又全濠チームを卅四對八で蹂躙したが、第三戰對早大戰では全濠チーム漸く好調を取戻し一方早大に氣力なく廿一對六で全濠チーム勝ち、：第三戰の對全日本軍戰では十八對八で又全日本軍を敗つた。(上左)は全濠軍對全日本軍ラグビー戰(上右)全豪軍に握手を賜ふ秩父宮殿下

第七回明治神宮體育大會のスキー競技は、二月三日、四日の兩日新潟縣小千谷町郊外山邊村山本山スキー場で開催されたが、その第二日には、秩父總裁宮殿下並びに北白川宮兩殿下には親しく台臨遊ばされ、審判臺統監席より選手の活躍ぶりを御熱心に御覽遊ばされた。(中左)今年から初めてこの競技に參加する軍隊の選手(中右)台臨の秩父宮、北白川宮兩殿下



第十二回全國スキー選手權大會は、全國の精鋭を集めて、青森縣大鰐スキー場で、二月九日、十日、十一日の三日間に亘つて盛大に行はれた。その第一日の五十キロ耐久レースは午前九時半スタートを切り、二時八分旭川の但野君が最初にゴールインしたのを最初に續々ゴールに入つたが北海道選手は壓倒的勝利を收めた。(下右)は會長稻田男の令旨捧讀(下左)は五十キロ耐久レースで一着の箕輪君が前走者を追越した瞬間である

白銀上の入場式

ー第一回神宮スケート大会ー

今度初めて明治神宮體育大會に參加した冬季の神宮競技、第一回スケート大會は、一月廿五、廿六日の兩日全國一流スケーターを總動員して、日光細尾特設リンクで擧行された。開會式は廿五日午前九時から行はれ、行田選手の捧持する聖恩の旗を先頭に、大會役員、選手入場リンク中央に整列、君が代齊唱裡に國旗を掲揚、次いで總裁宮殿下の令旨の捧讀、會長の式辭代讀、選手の宣誓等あり、一同明治神宮を遙拜、聖恩旗を式場中央に安置して式を終へた。（寫眞は白銀上に於ける入場式）

『神ながらの道』を説いた米人メーソン氏勲四等に叙せらる

何でも彼でもアチラのものがよい、日本製ではどうも巾が利かないといふので、しまひにはその尊い精神までも輸入して、やれマルキシズムだレーニズムだファッショだなどゝ騒ぎ立てゝ、尊い日本精神を沒却する輩の多い今日、それとは正反對に外人ながら日本精神の崇高尊嚴なるを究めて、これを說き我が思想界に一大警鐘を與へた人がある即ち米國の神道研究家メーソン博士だ。

メーソン博士は、日本に滯在すること二ヶ年、日本精神の研究に沒頭し、その間思想善導の講演を開くこと百四十回にも及んだ、そしてその研究の結果は、名著『神ながらの道』となつて公刊された。

畏き邊りではこのメーソン博士の功績を嘉せられ、叙勳の御沙汰あり、一月廿七日午後一時、外務次官官邸で重光外務次官は畏き御沙汰を同氏に傳へ、勳四等旭日小綬章をその胸に飾つた。

寫眞は重光次官から勳章をうけるメーソン博士

舞台の先祖と交驩する名和長憲男

建武中興――これは誰でも知つてゐる史實だ、國家非常時に際して、大化の改新や明治維新と共に我々が偲ぶ大業だ――あれからもう六百年の年を閲してゐる。現今未曾有の非常時に直面して、當時の忠臣、楠、名和、新田等を偲ぶや切なるものがある。楠公會では來る三月十六日建武中興六百年記念日を控へて、更に輿論を喚起すべく努力してゐるが、その一つとして歌舞伎座の二月興行に『名和長年』の上演を斡旋したが、名和長年から廿六代目の後裔に當る名和長憲男は、その初日に同劇を觀覽、幕間に樂屋を訪問して、名和長年に扮する幸四郎丈に種々指導された。（寫眞は向つて左から名和男、幸四郎丈、名和男夫人）

大江戸の粋を誇る出初式……
——最新式消火器も利用して——

宮中喪のため御遠慮申上げてゐた恒例の消防出初式は、二月六日午前十時から宮城前大廣場で盛大に行はれた。定刻前から觀衆は續々とつめ忽ち場内に溢れ無慮五萬といはれ、午前六時には早くも警視廳卅九消防署員千七百名を始め、紺もゝ引、はつぴに、草鞋姿といふいなせな各消防組代表の哥兄達が、手に〳〵鳶口を携へ、纒をかざして入場、それに消防隊百十餘臺の自動車がズラリと並んだ、定刻十時、早川消防部長の號令の下に、總監旗を先頭に、藤沼總監が馬上豊かに跨つて整列する隊員の陣頭に立ち『君ケ代』の吹奏裡に國旗を掲揚の後宮城を遙拜し、次いで各部隊の檢閲に移り、優良並に公設消防組代表者の表彰式についで市部消防組員の音頭勇ましく大江戸の名殘をとゞめる木遣高らかな行列、自動車の勇壯な分列、呼び物の消防體操、自動車の梯子操作等があり、哥兄連得意の離れ技梯子乘演技で觀衆に手に汗を握らせた後、壯烈な消火演習を行ひ、正午式を終つた。（上圖）は當日の模擬火災（下圖）は哥兄連得意の梯子乘り

軍務に御精勵遊ばさる朝香宮殿下

陸軍中將朝香宮鳩彦王殿下には、近衛師團長の要職につかせ給ひ、畏くも日夜、軍務に御精勵あらせられるが、殊に二月下旬に、畏くも天皇陛下におかせられては、禁衛部隊たる近衛師團に行幸あらせられて御親閲あそばされる旨御内沙汰を賜つたので、この光榮の日の御準備に一入の御精勵と拜聞し奉る。
（寫眞は御閲兵中の朝香師團長宮殿下）

近衛步兵第一聯隊第六十一回軍旗祭は、一月廿三日午前十時半から同營庭で、朝香師團長宮御臨場の下に盛大に行はれた。
寫眞は同軍旗祭の餘興、パン喰競爭

故西郷從道侯の令孫道親君は、横濱高等工業造船科に在學中であるが、日本の將來は空にありと、航空界入りを志し、學校の餘暇で洲崎のアジア飛行學校で專心勉强してゐる。寫眞は練習中の同君

宮内省で鷹狩に使つてゐた隼三羽を今度上野動物園に御下賜の御内意があつたので、一月廿日午前十一時半、古賀上野動物園長は宮内省に出頭して拜受した。（寫眞御下賜の隼と古賀園長）

旭日大綬章を親授された三大將

二月七日文武官三百八十三名に對し定期叙勳の御沙汰あり、天皇陛下には同日午後一時半鳳凰間に出御、大角海相、菱刈、南、渡邊、野村各大將に勳一等旭日大綬章並びに松木、川島兩中將及び大島義脩氏に勳一等瑞寶章の親授式を行はせられた。（菱刈、渡邊兩大將、川島中將には傳達）寫眞は宮中を退下する向つて右から大角海相、南次郎大將、野村吉三郎大將

赤字補塡の一策として、東京市電では女車掌を採用することになり、一月廿四日第一回の採用試驗を行つた。來る三月の末頃からは約二百名が御目見得する筈である。寫直はその採用試驗

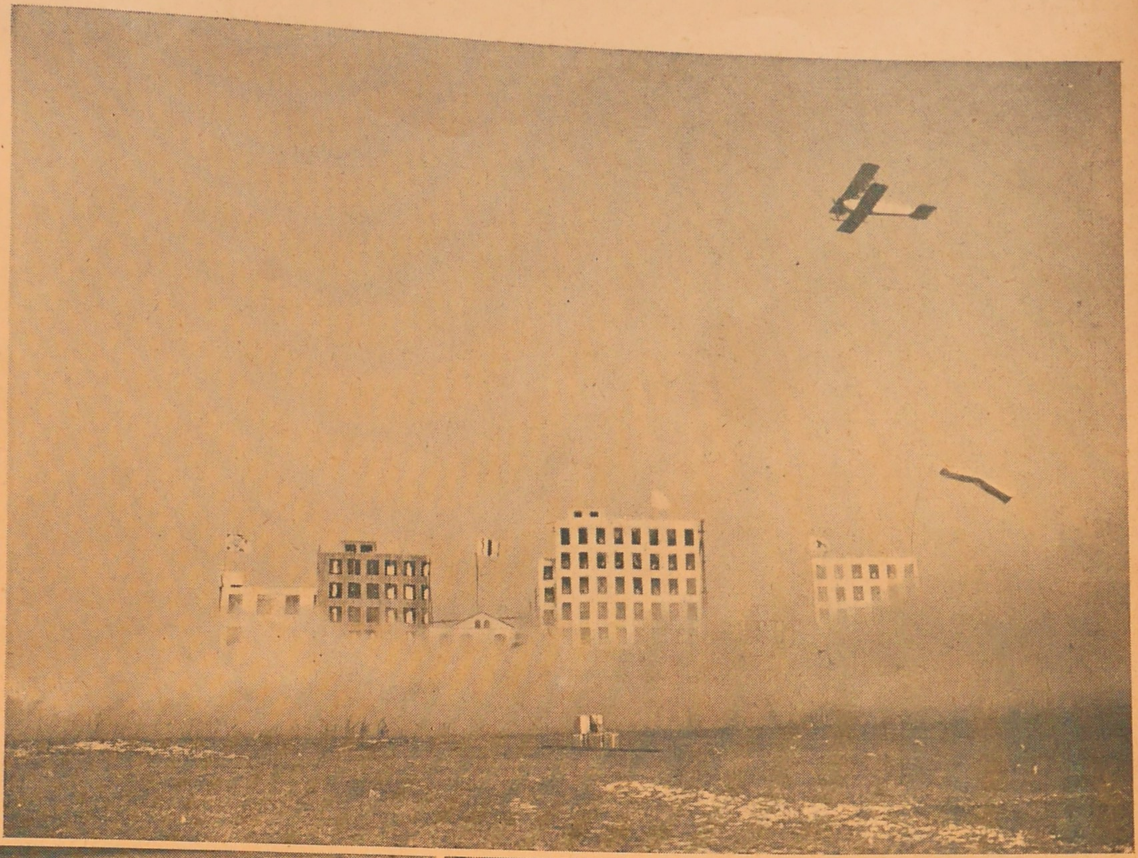
大角海相は近く遠洋航海の途に上る松下司令官以下練習艦隊乗組の候補生並に士官約三百名を二月七日水交社に招いて送別午餐會を催した。

一世の善智識として衆生の敬慕歸依を厚くした芝増上寺貫主道重大僧正は、山口縣宇部市阿彌陀寺に歸省中腦溢血で倒れ一月廿九日午後二時四十五分遂に遷化した。寫眞は着京した道重大僧正の遺骨

防空思想普及の空中ページェント

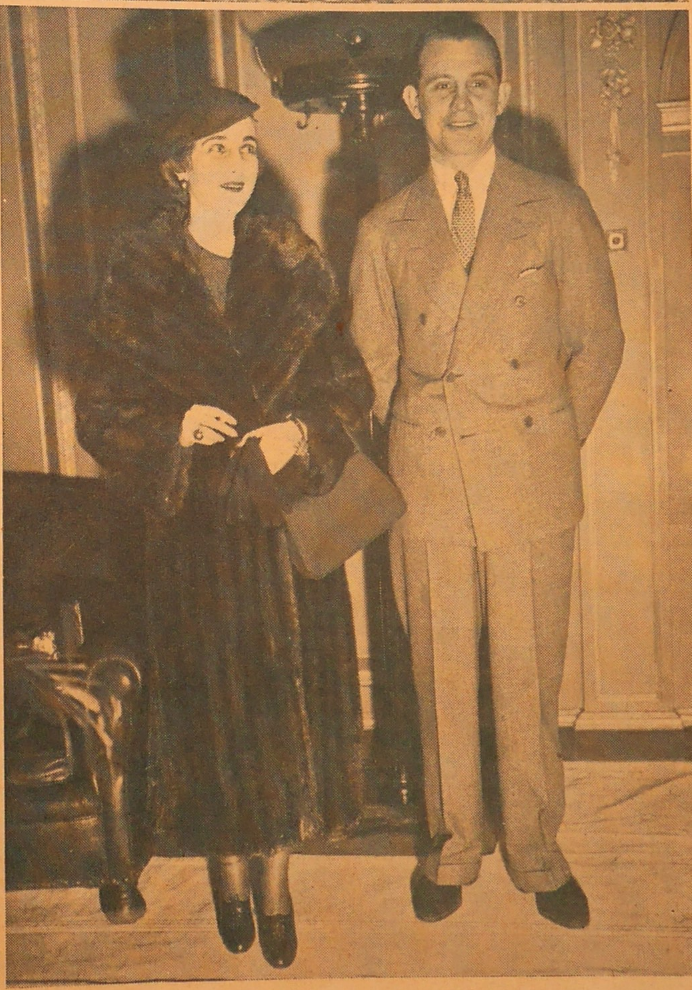
大空を守れと叫んで、防空思想を普及徹底させる爲め、防空思想普及會では、二月四日午後一時から、東京品川の埋立地で、空中ページエントを開催、各種の航空演技を行つた後、例の女流パラシューター宮森瓔等のパラシュート降下等を行つた。

寫眞は同日行はれた模擬空中爆撃



桑港の日本人協會の創立者の一人で浮世繪版畫の蒐集と研究家で知られてゐるカザリン、ポール女史は一月廿五日帝國ホテルで浮世繪の講演會を開催多年の蘊蓄を發表した。寫眞は講演中の同女史

長き邊りでは本邦駐劄外交團御慰勞の思召しから鴨獵を差許されたので、白國大使外各外交團は二月六日越ヶ谷鴨場で獵に打ち興じた。（寫眞は雷門驛を出發する外交團の一行）



戀の千萬長者令孃と騒がれた紐育の千萬長者チャーチル、ウールウオース氏の愛孃バーバラ孃は、東洋觀光のため、先着の夫君、元ロシアの公爵デヴアニ君の後を逐ふて、一月廿六日の龍田丸で來朝した。（寫眞は御兩君）

爆彈三勇士の銅像成る

廟行鎭の肉彈三勇士——北川、作江、江下三伍長の功績を永久に傳へるため、製作を急いでゐた銅像はこの程完成したので、いよ〳〵芝の青松寺境内に建立されることゝなり、二月八日からその据付工事が行はれてゐるが、二月廿二日の三勇士の命日に、盛大な除幕式が行はれる筈である。寫眞は完成した三勇士の銅像

上海事變が勃發して早くも二年、海軍協會東京支部では思ひ出深い一月廿八日東京府、市、商工會議所の後援の下に新宿伊勢丹ホールで盛大な記念祭に次いで追悼會を催した。寫眞は林少佐の講演

大衆の醫師として知られてゐる馬島僴氏の長女漾子さんは、まだ十八才の乙女ながらも、滿洲開發の希望に燃え、滿洲に骨を埋める固い覺悟で、二月十日滿洲へ向け出發した。寫眞は漾子さん

東京婦人市政淨化聯盟では、一月十八日午後一時半から日比谷市政會館内東洋軒で、小市民稅、女中稅に反對する會を開催し、いよいよ反對の第一聲をあげた。寫眞は市川房枝女史の說明

五・一五事件 民間側判決

五、一五事件の後陣を承る民間側―水戸愛郷塾頭橘孝三郎他塾生十二名、西田税暗殺を企てた川崎長光等四名、外部から幇助した神武會長大川周明博士、天行會長須山秀三、紫山塾頭本間憲一郎等廿名――に對する判決は二月三日東京地方裁判所に於て神垣裁判長から言渡された。何しろ天下の視聽を集めた事件であり、殊に陸海軍との刑量差如何などで世人注視の的となつてゐたゞけに、傍聽人は前夜から降り積る雪の中に開門を待ちうける騷ぎ、又法廷内外はは前田丸の内署長の指揮する七十餘名の正私服警官、憲兵、守衛で水も洩さぬ警戒網が布かれた。かくて定刻、緊張と、森嚴裡に神垣裁判長は開廷を宣し、莊重な口調で堂々一時間三十五分に亘つて判決理由を述べた後滿廷息をのむ中に、斷々乎として橘塾頭に無期大川博士に懲役十五年、頭山會長に懲役十年以下廿名に、夫々判決を言渡した。

（上圖）判決言渡しの刹那（下圖）滿員の傍聽席、×印は市川猿之助氏

・北歐の代表的建築・
ストックホルムの教會

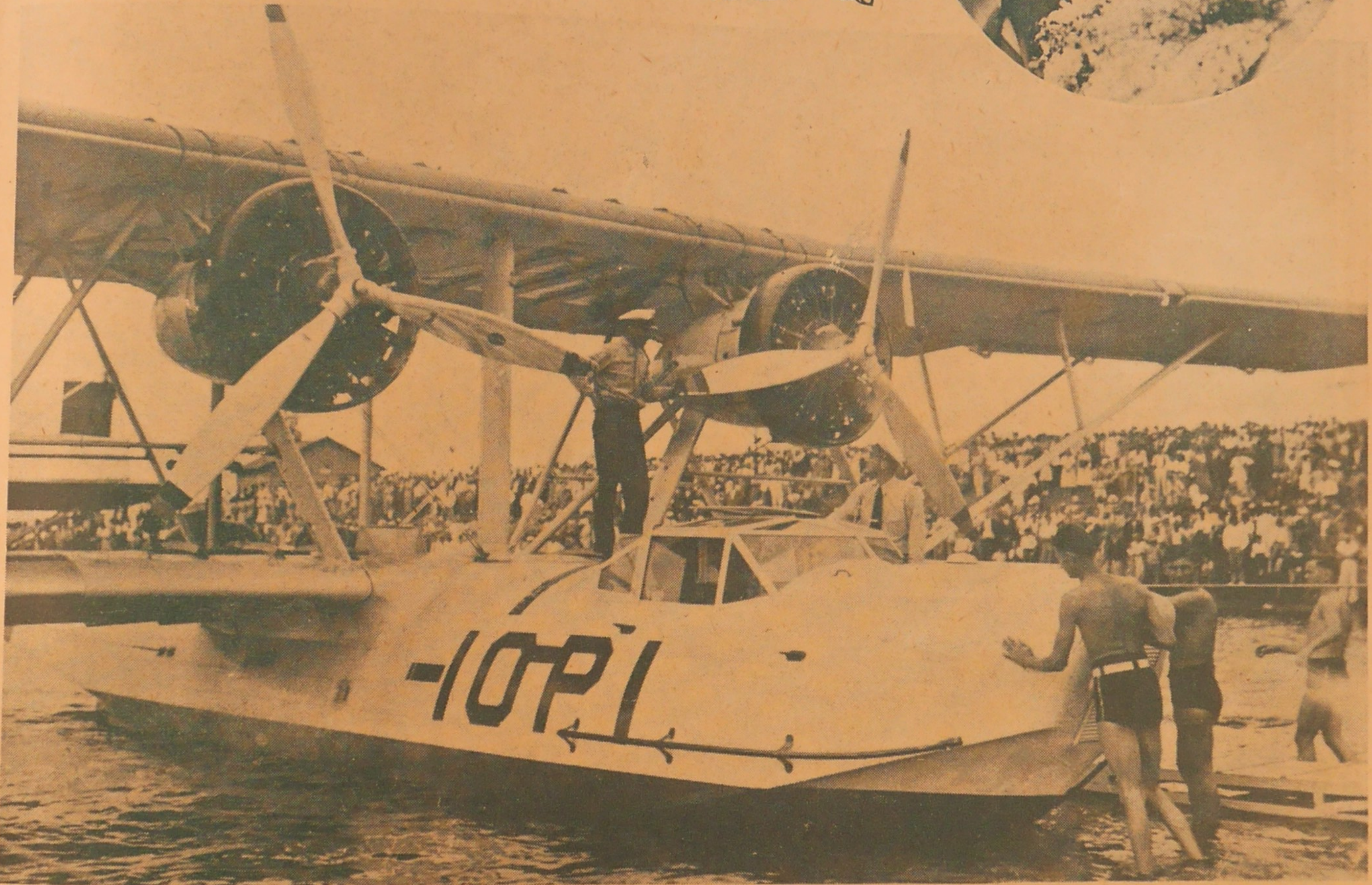
北歐のヴエニスだとかパリだとかいはれるスウエーデンの首都ストックホルムは、その名に違はず誠に美しい都です。市街は多くの運河と欝蒼と茂つた原始的森林に圍まれて優しい明淨な氣に滿ち、それが已に美の都をなしてゐますが、北歐一の名を成すに至つたものは、それとよく調和した整然たる區劃と建築美があつたればこそでせう。實際、歐洲一の善美を誇るルネッサンス式の王宮を始めとして諸官衙、寺院、教會、公會堂などの宏壯な建物が近代建築美を誇つて甍を連ね、而も整然として森と水に調和した所は、一幅の活畫圖です。寫眞はストックホルムの或る教會ですが、如何にも北歐文化の中心地、美の都の建築らしい建物ではありませんか

七十五才の春を迎へたカイゼルの近影

ヒットラー萬能時代、ナチスならでは夜も日も明けぬ今のドイツです。廢帝カイゼル・ウイルヘルム二世の事などは、とつくの昔に忘れられてしまつてゐる事でせう。おそらく今のドイツの小學兒童にカイゼルを知つてゐるかときいても、『知らないや』と答へるであらう――程、カイゼルの存在は無視されてゐる樣です。一時はカイゼルの國内招還などゝ云ふ事が問題に上つたらしいですが、今ではそんな話も立ち消へとなつて相變らずオランダドールンの古城に淋しい日を送つてゐると云ふ事。思へば一九一八年騷亂のドイツを逃れて此處に蟄居してから十六年、隨分永い隱居生活です。そして今年の一月二十七日は七十五才の誕生日を迎へました。淋しくはあらうけれども安らかな生活カイゼルとしては本國へ招還される事などより今日の穩やかな身の上の方がむしろ幸福であるかも知れません、ドールンの古城も二三年前自分の所有に歸して今では全くの樂隱居、書見や散歩に一日を過ごしてゐると云ふ事です。（寫眞は從僕をしたがへ日課の散歩を終り池の家鴨に餌をやつてゐる好々爺ぶりです）

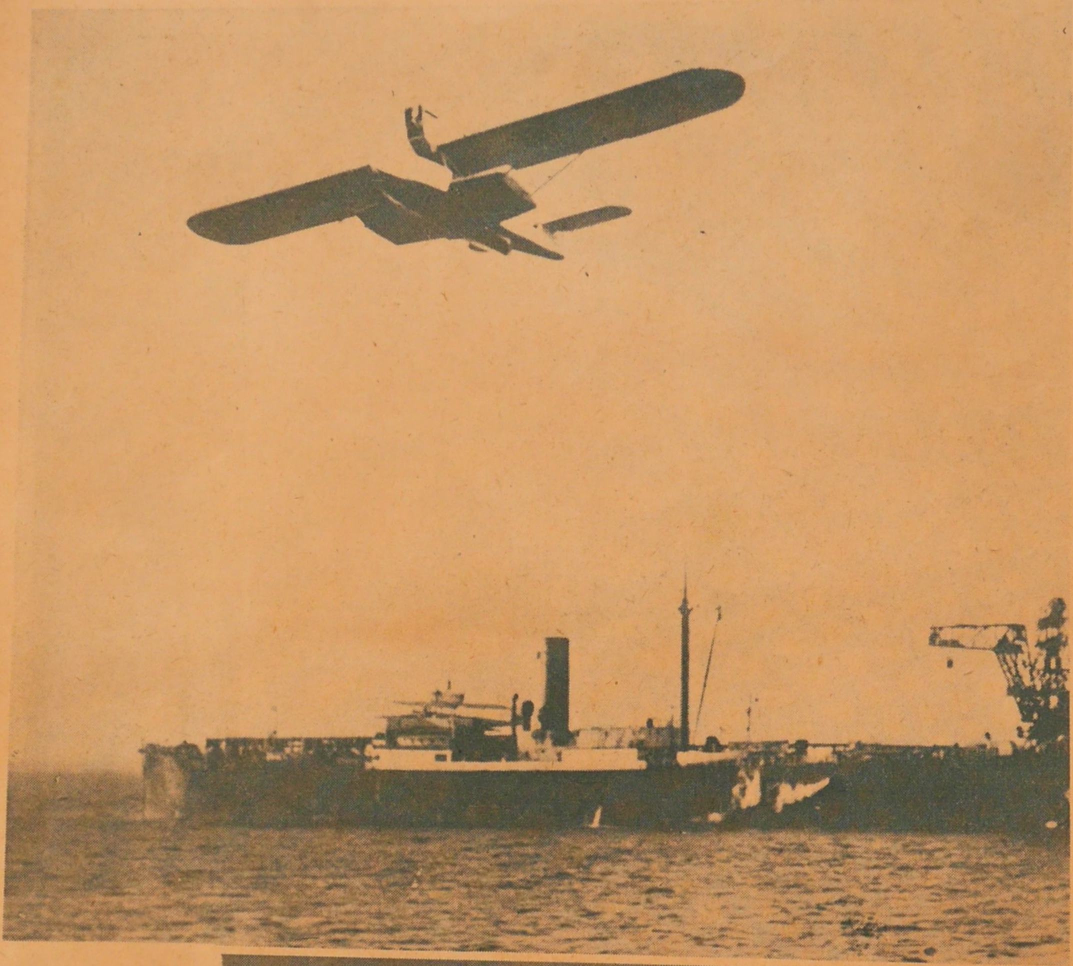
ハワイに着いた米海軍飛行艇

全兵裝を備へたアメリカ海軍コンソリーテッド型哨戒爆撃機六臺つばさを揃へてサンフランシスコハワイ間の無着陸横斷飛行を美事に完成した。而も廿四時間と四十五分、正に一晝夜でアメリカ空軍の精鋭は太平洋前進基地ハワイまで來る事が出來ると云ふのだからアメリカにとつては又とない快報であらうが、我が國にとつてはあまり有難いニュースではない、日本でもハワイまでの無着陸飛行位は是非斷行して欲しいです。此處に掲げた寫眞は一月十一日、午前零時三十分、三千九十八哩の難コースを征服してハワイ眞珠灣軍港についた一行の先導機。(上右)は指揮官マックギニス少佐。



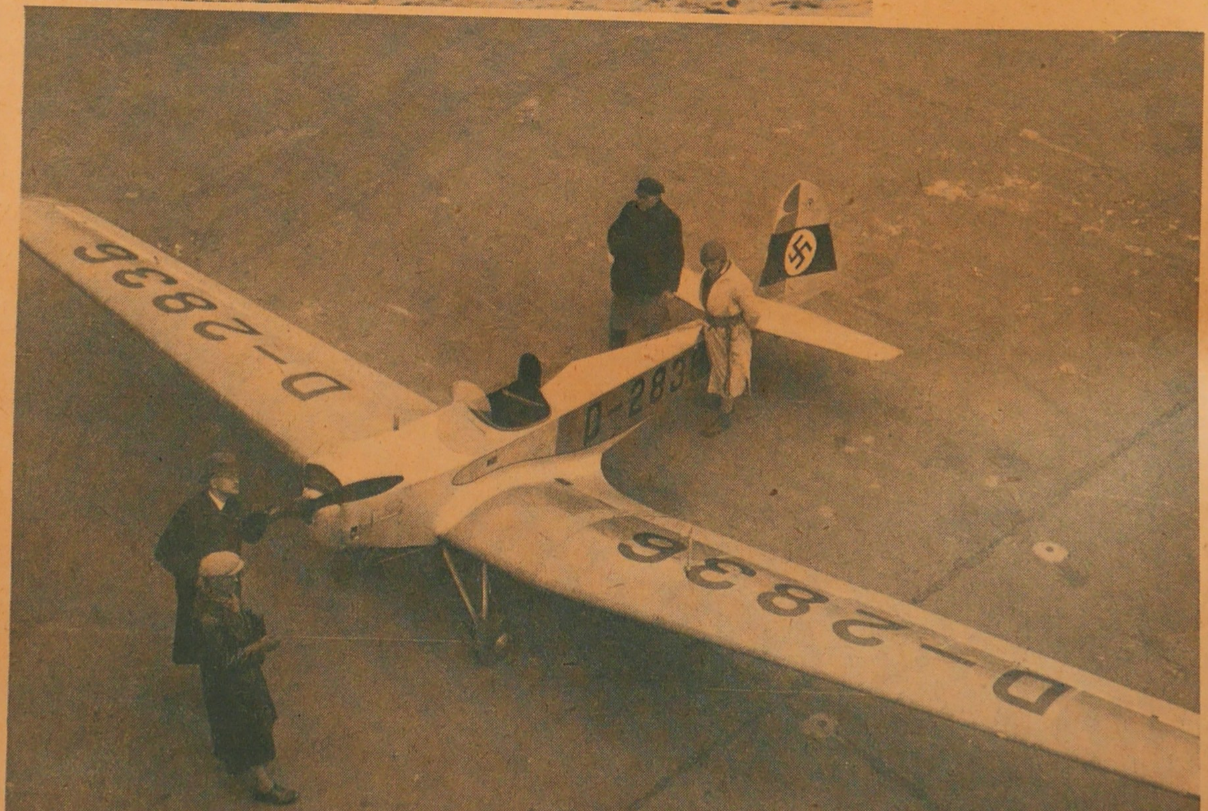
英濠間横斷飛行 (下圖)

濠州の著名な世界的飛行家、サー・チャールスキングフォードスミス氏は、イギリス、オーストラリア間太西、太平兩洋横斷飛行を行ひ從來自己の保持してゐた記錄を破り、七日と四時間五十分の新記錄をもつて翔破した。寫眞は、シドニーの上空をとぶスミス搭乘のミス・サウザンクロス號今や熱狂的歡迎裡にマスコット飛行場へ着陸する所である。



アフリカから太西洋上の軍艦へ飛ぶ（上圖）

ドイツのドルニエ・ビー・エム・ダブリユーワール飛行機『タイフーン號』は、昨年夏頃太西洋上循環飛行を行つて全世界の注目を惹いたが、十二月の末、今度はアフリカ西海岸英領ガムビーンのバスールストから、太西洋上に浮揚する母艦『ウエストファーレン號』に向けて出發、一三二〇キロの航程を七時間四十分で翔破した。寫眞は激浪を冒して滑走帆（水上から艦上に引き上げる布製の滑走路）に着陸せんとする『タイフーン號』で在來の如く甲板上に直接着陸せず、一旦水上に着いてから艦上に上る新式着陸法で、水上機の母艦着陸法としては絶好の設備だ相です。日本の航空界が發達したと云つても、歐米各國でも着々と飛行術の進歩發展に努力し、その實を上げつゝあります、我國の航空界も緊褌一番、世界をアツと云はせる様な新機軸、新記錄を作つてみたいものです。



ドイツの新式小型飛行機

ドイツのエルラ製鐵所と政府飛行機製造所の合同製作になる『新興ドイツ國民飛行機』は、ベルリン中央飛行場で竣成式を兼ねたテスト飛行が行はれた。この飛行機は僅か二十馬力で、軍部に於る大演習時の斥候用、旅行用、スポーツ用、曲乘用などに用ひられるものであるが、後翼には歴然としてナチスのマークがつけられてゐるのも、矢張ヒツトラー萬能時代たるを思はせる。

銀盤の世界

～サンモリッツより～

近頃日本でも非常にスキーが流行して居ります。が、まだスポーツ、遊戯の範圍を出ない様です。しかし歐米各國ではスキーやスケートを實用化、殊に雪中行軍の軍隊などには多く用ひられてゐる相ですが、日本でも在滿兵士等に敎育したらどんなものでせうか、雪の大原野、凍結した河床等を渡る時は在來より一層敏活な活動が出來ると思ひます。

（右頁上）フランスの軍隊がスイスサンモリッツの奥地ゲルシュマルプ山を越へてスキー斥候に出掛る雪濱大演習の一場面（下圖）はスイスパレスホテル前の大スケート場（左頁）スイス・エンゲルベルグ（天使山と云ふ）のスキーゲレンデ、粉雪を蹴つて滑走する壯快な場面。

海外ニュース

スキー遭難救助隊の活動

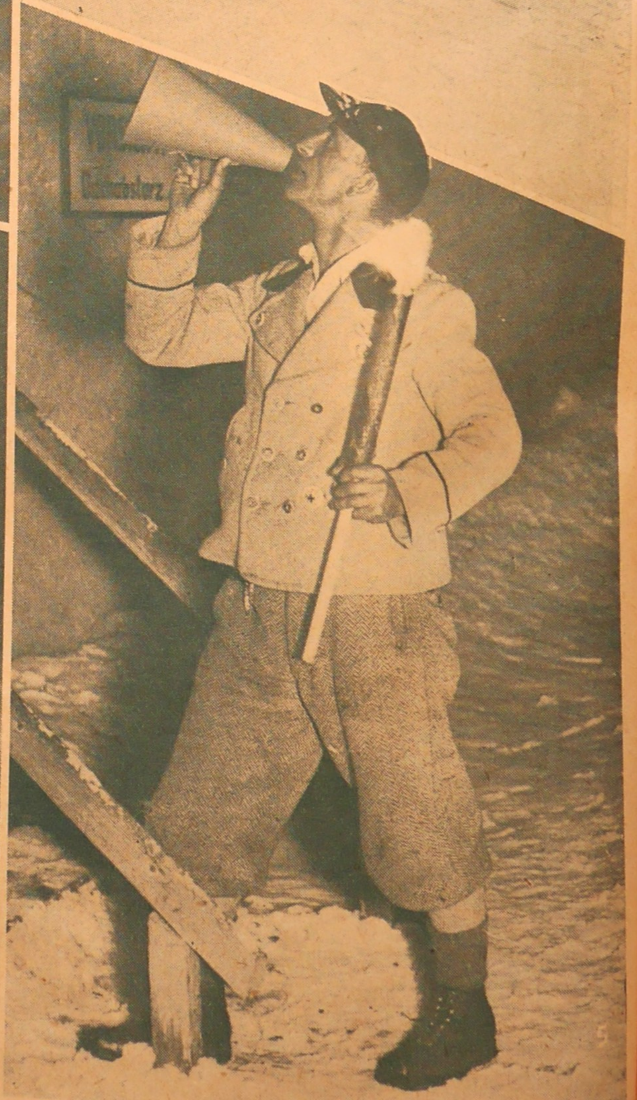
先達、淺間山で悲慘なスキー登山の遭難事件がありました。これは徒らに銀嶺にあこがれ、冬の山岳に對する認識を缺いた結果だ——とも申されませうが、遭難した人々はナントモ御氣の毒で、謹んで哀悼の意を表します。ドイツでは、斯うした悲慘事を防止する爲ツーゲス・シュピツエと云ふ山にシュネーフエルナーハウスと云ふ山岳遭難を救助する爲の山小屋があり、冬期中數十名の救助隊がつめきり、スキー遭難、雪崩埋沒者などの應急救助にあたるので昨年の暮頃二つの遭難事件がありましたが、何れもこの救助隊によつて救出され、生命には別條なく歸還する事が出來た相です。寫眞(1)はタイマツを持つて遭難搜索に向ふ救助隊(2)疲勞困憊の狀態になつた遭難者を擔架にのせて山小屋に歸る(3)數十丈の積雪を掘つて救助する場面(4)雪崩にやられた人を救ひ出す所(5)一行悉く行方不明イザ救助に向はん!!の非常報知

淺間山のスキー遭難事件は一行六人。中に三田好子、正子の二姉妹が二女流スキーヤーとして加つたが何れも雪崩の爲に雪中深く埋沒され、一週間近くを要して漸く死骸を發掘した

(右圖)は三田好子、正子兩嬢の死體發掘現場。(左圖)は親友や青年團の手で山を下る死骸

3

4


5

コレは便利!! 赤ちゃん携帯機

近頃盛んに有閑夫人といふのが流行る——は變ですが、出沒する樣です。ダンスホールに入り浸つたり、麻雀に夢中になつたり、揚句の果には、お上の御厄介になるナンテ、どうも困つたはなしですが、この有閑マダムだつて必ずしも有閑ではないらしい、可愛いらしい坊ちやん孃ちやんが大勢あつて有閑どころか、お子さんのお世話に閑もない位が本當なのでせうが、無理なひまを作つて出歩く、子供は女中さんに預けつぱなしなど、愈々怪しからん事です。外國にも、この有閑マダムは大勢ゐるらしい、そしてこのマダム達に心境をきいてみると『子供は可愛いが、連れて歩くのがみつともなくてイヤダ、なにか體裁のいゝ工夫はないものか——』と斯うです。これも全く解せないはなしで、自分の子供を抱いたり、背負たりする事にナンノ不思議もないわけですが、彼女達に云はせると赤ん坊なんぞを抱いてゐるのはバアやみたいでイヤだ、自分の美しい姿態をブチこわすと仰言るのです、それなら子供なんか作らなけりやいゝにと思ひます——とまア理窟を云へば際限がない次第で、イヽ加減に攻擊をやめますが、ドイツでは、この屁理窟ならべる奥さん達の爲に、此處に掲げた『ベビーバッグ』と稱する、外見すこぶる體裁のよい袋が出來ました。寫眞に御覽の如く、近頃流行るチャック式開閉器で、ヅック製、皮製等夫々優美な體裁、この中に赤ちやんを入れて歩くと外からみれば一體なにが入つてゐるかわからない『お化粧道具よ』『わたしは着替へのドレスが入れてあるの』と云ひた相な顏で居れば非常に結構、しかも息がつまらぬ樣に酸素注入器もついてゐる。冬なぞは暖くて表に出ても子供に風邪をひかせる憂がない、と云ふのでまじめな主婦でも之を用ひてゐる人が多い相です。どうです、一つ御注文になつては、そしてグンス場のトイレットルームあたりでオッパイをのませたり、あやしたり……せわしない母性愛に浸ると云ふ寸法、しかし、これはナンダカ悲慘な氣がします。愛兒をかゝへて街頭に働く女性なぞと云つた形でネ……

國際寫眞情報「臨時增刊」

皇太子殿下
御降誕記念
皇室畫鑑

皇太子殿下御降誕！日本國家として國民としてこれに過ぐる慶祝、歡喜がまたとあらうか、九千萬國民は欣舞雀躍日本全國は期せずして歡喜と感激の坩堝と化した。弊社謹輯の「皇太子殿下御降誕記念皇室畫鑑」はこの慶祝と感激を永久に記念すべき絶好の大畫錄であります。

好評嘖々!!

◆内容◆

◇天皇、皇后兩陛下御眞影（原色版額面用臺紙貼込）……
◇大正天皇、皇太后陛下御尊影（原色版額面臺紙貼込）……
◇三内親王殿下御尊影（原色版額面用臺紙貼込）……

各皇族方御尊影

◇久邇宮故邦彦王殿下（原色版臺紙貼込）……
◇久邇宮大妃俔子殿下（原色版臺紙貼込）……
◇秩父宮雍仁親王　同妃勢津子殿下（地色二色版）
◇高松宮宣仁親王同妃喜久子殿下（地色二色版）……
◇閑院宮載仁親王同妃智惠子殿下（地色二色版）……
◇伏見宮博恭王同妃經子殿下（地色二色版）……
◇其の他、各皇族宮殿下並びに王族殿下御尊影（地色二色版廿頁）……

各皇族殿下御動靜

◇大演習御統監の大元帥陛下　◇行啓の皇后陛下　◇皇太后陛下靖國神社御參拜　◇御學友と共に御遠足遊ばさるゝ照宮さま　◇スキーを遊ばさる澄宮殿下　◇秩父、高松兩宮同妃殿下御動靜　◇御多忙にわたらせらるゝ閑院、伏見、梨本三元帥宮殿下……
◇其の他各宮殿下御日常の御動靜（クリームアート刷單色版十二頁）……

皇太子殿下御降誕奉祝狀況

◇明け行く佳き日　◇讀書鳴弦の御儀　◇音樂行進　◇花電車　◇奉祝夜景（原色版）……
◇其の他奉祝狀況（原色版十數面及び單色版十二頁）……

記事

◇皇太子殿下御降誕奉祝記……
◇皇室、皇族御略記……

◆外觀體裁◆

◎表紙、オフセット十數度刷「鳳凰圖」大版包み綴じ型豪華版……
尚、實物は「世界畫報」販賣員に御申付の上御覽下さい。

定價　壹圓貳拾錢
（送料）内地十錢　外國廿四錢

本誌御購讀の方へ

◆本社名を以て金錢上その他如何はしき申出を爲した者がありましたら、御手數でも一應本社へ直接御照會下さるようお願ひします。近來本社名を利用して種々不都合をなすものがある由ですから特に御注意下さい。

◆本誌配本上其他に付不都合の行爲がありましたら、東京市内は表紙取扱欄に押捺してある番號により、又地方は必ず住所氏名を記載した取扱者の印を押捺させることになつてゐますからそれによつて直接本社へ御申出で下さい。

◆本誌は遲くも毎月十日迄に配本せぬような場合は本社へ御通知下さい。早速便宜の方法で御送りします。

◆本誌は書店で賣らぬことになつてゐますから購讀御希望の方は直接本社に御申込下さるか、全國各地の支局に御申込下さい。

◆本誌の誌代はすべて配本の際引換えに頂く規定になつてゐますが、前金を御拂込下さる際は直接本社宛に願ひます。本社宛直接御拂込以外は一切責任を負ひませんから御承知おき下さい。（御送金は振替東京四五〇〇番を御利用下さることが一番確實です）

定價

一部金六拾錢（月極金五拾錢）　送料二錢
一ヶ年分　金六圓
海外一部送料　金十錢

昭和九年二月二十日印刷納本
昭和九年三月一日發行

東京市麹町區内幸町一ノ三
發行、編輯兼印刷人　石原俊明

東京市麹町區内幸町一ノ三
印刷所　國際製版印刷所

東京市麹町區内幸町一ノ三
太平ビル別館
發行所　國際情報社
振替東京四五〇〇番
電話銀座（一一八六、一一六〇六）

無斷轉載複製を禁ず

THE PICTORIAL WORLD

【世界畫報】
大正十五年十一月十日第三種郵便物認可　每月一回一日發行
昭和九年二月二十[illegible]日印刷納本　昭和九年三月一日發行

VOL. 10. ◇ MARCH ◇ NO. 3

PUB. BY KOKUSAI JOHO SHA TOKYO JAPAN